

【大学・地域共創プラットフォーム香川】

令和5年度第2回就職・産業振興部会 議事次第

開催日時：令和5年10月30日（月） 15:00 ～ 16:30

開催場所：香川大学幸町北キャンパス

法人本部3階第1会議室（高松市幸町1番1号）

議題事項

1. 令和5年度取組み進捗状況について（資料1）
2. 今後取り組む事業について（資料2）
3. その他

報告事項

1. 産学官共創チャレンジ支援補助金実施報告（資料3）
 - ①メタバースを利用したオンライン県内企業等見学ツアー
（香川大学キャリア支援センター）
 - ②若手経営者と巡る「キラリと輝く地元中小企業の魅力発見
ツアー」（香川県中小企業団体中央会）
2. 地域活性部会 就職活動の状況等に関するワーキング
（資料4）
3. その他
 - ・令和5年度キャリア支援研修会（資料5）

【大学・地域共創プラットフォーム香川】
令和5年度第2回就職・産業振興部会 出席者予定者名簿

《10月30日（月）15時00分～》

（敬称略）

	構成員	部会委員所属名	部会委員職名	部会委員氏名（ふりがな）	出欠状況	代理出席
幹事	香川大学	－	副学長	山神 眞一（やまがみ しんいち）	○	－
副幹事	香川県	地域活力推進課	課長	佐々木 宏樹（ささき ひろき）	○	－
		産業政策課	課長補佐	芳重 博光（よししげ ひろみつ）	○	－
		労働政策課	課長補佐	岡村 武典（おかむら たけのり）	○	－
県内大学等	四国学院大学	学生コモンズ支援課	部長	金関 貴之（かねせき たかゆき）	×	－
	徳島文理大学	就職支援部	部長	横山 賢治（よこやま けんじ）	○	－
	高松大学	－	副学長	澤田 文男（さわだ ふみお）	×	－
	香川短期大学	－	副学長	齊藤 栄嗣（さいとう えいじ）	○	－
	高松短期大学	学生支援部	学生支援部次長（キャリア支援担当）	蓮井 明博（はすい あきひろ）	○	－
経済団体等	香川県商工会議所連合会	高松商工会議所 事業推進部 産業・人材課	課長	神原 知江（かんばら ちえ）	○	－
	香川県商工会連合会	－	事務局長	松園 和夫（まつぞの かずお）	○	－
	香川県中小企業団体中央会	－	事務局長	朝國 和樹（あさくに かずき）	○	－
	香川経済同友会	－	専務理事・事務局長	國村 一郎（くにむら いちろう）	○	－
	香川県中小企業家同友会	企業づくり推進本部	副代表理事	有吉 徳洋（ありよし とくひろ）	○	事務局主任 伊井達哉
	香川県農業協同組合中央会	総合対策部	次長	大村 康夫（おおむら やすお）	○	－
	香川県漁業協同組合連合会	総務部	次長	橋本 明子（はしもと あきこ）	○	－
	香川県銀行協会	－	常務理事	松田 秀司（まつだ しゅうじ）	○	－
行政機関	高松市	市民政策局政策課	局次長兼課長	田中 照敏（たなか てるとし）	×	－
		創造都市推進局産業振興課	課長	松本 徳（まつもと あつし）	○	課長補佐 山下 洋司
	土庄町	商工観光課	課長	蓮池 幹生（はすいけ みきお）	×	－
	小豆島町	商工観光課	課長	相原 隆幸（あいはら たかゆき）	×	－

陪席者

構成員等	陪席者所属名	陪席者職名	陪席者氏名（ふりがな）
香川県	政策部地域活力推進課	課長補佐	常金 志信（つねかね し のぶ）
		副主幹	大久保 明宏（おおくぼ あきひろ）
		主任	島倉 恒太（しまくら こうた）
香川大学	キャリア支援センター	副センター長	原 瑞穂（はら みずほ）
		特命教授	尾崎 亨（おざき すすむ）
		教育・学生支援部	図子 賀津美（ずし かつみ）
PF事務局（香川大学）	－	特命教授	藤澤 一仁（ふじさわ かずひと）
	地域創生推進部	部長	前川 豊弘（まえかわ とよひろ）
	地域創生推進部地域連携推進課	課長	上田 幸司（うえた こうじ）
		課長補佐	石田 和一（いしだ かずいち）
		課員	児玉 隆（こだま たかし）

令和5年度就職・産業振興部会取組状況について

【取組一覧】

資料 1-1

No.	事業方針	取組名	取組内容	開催日・開催場所	参加者数 (内WEB参加数)	参加者数 (学校別)	担当	得られた成果 (見込み)、 今後の課題など
1	1. 学生の就職選定の実態把握と対応策の検討・実施	学生の就職選定の実態把握	就職選定に係る実態把握に努めるため、アンケート調査を実施（地域活性化部会と連携） 就職先選定における学生と企業との間のギャップ等を把握するため、県内企業向けアンケートを策定・実施する	<企業向けアンケートのみ> 【今後のスケジュール予定】 ・11月～：委託事業者選定 ・12月～：調整 ・1月～：アンケート実施 ・2月～：アンケート整理 ・3月：結果共有			県労働政策課、 県地域活力推進課、 香川大学	
2	2. 地域内就職の推進に向けたキャリア支援	かがわーくフェア	合同企業説明会に向けて、各機関が連携して参加学生の増員と新たな魅力づくりを行う ターゲットを明確にし、適当な開催時期について検討する	《対面式》 日時：4月22日（土）、23日（日） ☒ 開催場所：高松商工会議所会館2階 大ホール ☒ 《オンライン形式》 ☒ 日時：5月8日（月）～5月15日（月）	参加者数 《対面式》148人 《オンライン形式》27人 参加企業数：124社	《対面》 香川大学6人、高松大学8人、徳島文理大学2人、四国学院大学12人、香川短大5人 《オンライン》 高松大学8人、徳島文理大学1人、四国学院大学1人、香川短大1人	香川県、高松商工会議所、香川労働局	【今後の課題】 PF参画の大学からの要望で4月開催としたが、参加は非常に少ない状況。大学で参加を必須とするなど、一層の周知協力、参加勧奨をおねがいしたい。
3		業種別オンライン県内企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催	① 8月23日（水）・Web ② 8月31日（木）・Web ③ 9月6日（水）・Web	参加学生数 ① 16人 ② 25人 ③ 45人 参加企業数：18社	香川大学23人(6-6-11) 四国学院大学4人(0-2-2) 徳島文理大学9人(2-2-5) 高松大学・高松短期大学6人(1-3-2) 香川短期大学38人(6-8-24) 香川高等専門学校6人(1-4-1) ※()内は、左記①,②,③毎の参加者数を示す。	香川大学	学生アンケートの評価結果は、「満足」と「やや満足」の合計で約9割となった。 「短時間で様々な企業の情報を得ることができてよかった」等の意見があった。 【今後の課題】 1.学生参加者の確保 2.参加各企業の持ち時間（現在15分間）の長さを使い方の検討 3.コース内容の検討
4		メタバースを利用したオンライン県内企業見学ツアー	web上での3次元仮想空間（メタバース）を活用した、県内企業見学ツアーを実施 令和5年度は適度な規模に限定したうえで試行的に実施する	① 8月29日（火）・Web ② 【自由見学期間】 8月30日(水)～9月5日(火)	参加学生数 ① 50人 ② 27人 参加企業等数：17	①香川大学41人、四国学院大学5人、高松大学4人 ②香川大学27人	香川大学	学生アンケートの評価結果は、「満足」と「やや満足」の合計で9割を超えた。また、低学年生の参加者が74%となった。 【今後の課題】 1.学生参加者の確保 2.説明回数、休憩時間 等（詳細は別紙）

No.	事業方針	取組名	取組内容	開催日・開催場所	参加者数 (内WEB参加数)	参加者数 (学校別)	担当	得られた成果 (見込み)、 今後の課題など
5	2. 地域内就職の推進に向けたキャリア支援	うどん県の自治体で働こう大懇談会	香川県内の自治体等の担当者やOB／OGが一堂に集まる大懇談会を開催	9月20日（水）：香川大学	参加数：19人 参加自治体数：13	香川大学18 人 四国学院大学1 人	香川大学	学生アンケートの評価結果は、「満足」と「やや満足」の合計で100%となった。「自治体ごとの比較がしやすく、話しやすい雰囲気だった」「様々な自治体の課題や取り組みを知ることができ、公務員のやりがいや大変さを改めて実感することができた」等の意見があった。 【今後の課題】 学生数の確保（参加学生の満足度は高かったが、空きブースができる時間帯があり自治体から改善要望があった）
6		キャリア支援研修会	就職活動の始め方等や企業研究の方法を説明するために研修会を開催 企業側から見た就職活動のポイントを示唆していただくために、企業側からの講師招聘を計画	10月24日（火）：高松大学・高松短期大学	参加登録者36人 参加者13名（うちWeb参加者11人）	香川大学3 人 徳島文理大学4 人 高松大学4 人 四国学院大学2 人 香川短大は補講のため0 人	香川短期大学	【今後の課題】 学生の確保、各大学において実施する同様の内容の研修を実施しており、内容や棲み分けなどを検討し直す必要があると考える。
7	3. 地域や企業の魅力発信の強化	インタビューシップ	学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビューする「インタビューシップ」の拡充	年度後期の授業のうち2～3コマ（1コマ90分）を予定：高松大学	（中小企業家同友会） 資料1-2のとおり （高松大学） 10名弱	（中小企業家同友会） 資料1-2のとおり （高松大学） 10名弱	【高校生】 香川県中小企業家同友会 【大学生】 高松大学、部会事務局	（中小企業家同友会） 資料1-2のとおり （高松大学） 目下、香川県中小企業家同友会経由で受入企業の調整を行っている段階。
8		高校、大学等のイベントへのブース設置	高校、大学等のイベントに香川県の特産品を出展し、それを生産・製造している企業についても、興味をもってもらう	10月28日（土）：香川大学			香川県漁業協同組合連合会、香川県農業協同組合中央会、部会事務局	香川県のノリ養殖について興味をもってもらい、就職先を考える上でも、香川県の企業で働きたいと思えるよう周知したい・農業や漁業を取り巻く現状を知ってもらい、県産農畜水産物の選択に繋げる。

高校生を対象とするインタビューシップについて（香川県中小企業家同友会）

1 概要

香川県中小企業家同友会では、「地域で若者を育て地域に若者が戻る（残る）、地域に若者が希望をもって帰ってくる活動」として、令和元年度から三木高校と「共育型インターンシップ」（※インタビューシップは三木高校での実施の際の名称）を実施。

「三木高校インタビューシップ」は、生徒 1 人が 1 社に出向き、会員企業の経営理念やそこで働く大人（経営者・社員）の夢や希望、地域活性の想いをインタビューすることを通じて、「働く意味」を学ぶもの。そして、その生徒が受け入れ企業をはじめ地元行政や県教育委員会、三木中学校の生徒等「地域」に対して受け入れた会員企業の魅力を SDGs の視点を入れて熱く語る成果発表会を実施。

本取組みにより、生徒の地元への愛着が生まれ、魅力ある地元企業を知ること、将来的な地元定着を目指す。

2 R5 年度の実施

令和元年度から実施した事業であるが、令和 5 年度から、県内高校 5 校に実施校を拡充した。実施状況は以下のとおり。

○三木高校インタビューシップ

三木高校：生徒 78 名、企業 78 社

○高松商業高校共育型インターンシップ

高松商業高校（英実科）：生徒 57 名、企業 57 社

高松商業高校（商業科）：生徒 10 名、企業 10 社

○飯山高校インタビューシップ

飯山高校：生徒 48 名、企業 51 社

○志度高校インタビューシップ

志度高校：生徒 32 名、企業 31 社

※10/18 資料提出後に実施

○企業研究（中小企業の課題解決の提案）

高松中央高校：生徒約 600 名、企業 21 社

※今年度は学校に訪問しての事業実施のため共育型インターンシップではない

3 得られた成果及び課題

2019 年に始まったこの取り組みは、山形大学と山形県中小企業家同友会が実施した「産学連携による低学年地域密着型インターンシップ」モデルを、中小企業家同友会全国協議会社員教育・共同求人委員会が先進事例として全国の中小企業家同友会に共有し、それを受けて香川県中小企業家同友会・社員教育委員会が山形大学と山形同友会を視察・研究しました。同時期に三木高校の廣林先生より「生徒の自主性を育む新しいカタチのインターンシップはできないか？」との相談があり、香川版のモデルとして「共育型インターンシップ」（※インタビューシップは三木高校での名称）が生まれました。

当会では、地元の若者の職業観、人生観に大きな影響を与えるこの取り組みを行う上で、**「人を大切する責任ある企業」** じゃないと**安易に受け入れすることは認められない**と考え、**「経営指針書成文化企業」「労使見解に基づいた経営をしている企業」**を中心に受入企業を選定しました。

2019 年 7 月から 8 月にかけて、初の共育型インターンシップが開催され、2020 年には、新型コロナウイルスの影響で開催が困難になりましたが、学びを止めないために出前授業としての開催が実現しました。

2021 年には、山形大学の松坂先生を講師に迎え、オープン例会が開催されました。同年、三木高と香川同友会との間で包括的連携協定が締結されました。

2022 年には、三木高が文部科学大臣表彰を受賞し、中小企業家同友会全国協議会第 54 回定時総会で香川の共育型インターンシップの取組が共有され、この運動が各地の同友会と地域の高校との取り組みとして波及しつつあります。また、この年に飯山高校とも包括的連携協定が締結され、飯山高校との共育型インターンシップが実施されました。

今年度は、2022 年度に実施した三木高校 2 年生 74 名のうち 57 名にアンケートを実施しました。県外進学希望者 28 名のうち 22 名(県外進学希望者のうち 78.6%)の生徒さんが共育型インターンシップ実施後「県内に帰ってきてもいいと思うようになった」と回答しました。また、46 名(アンケート回答者のうち 80.7%)の生徒さんが働くことに対してのイメージが「良くなった」と回答し、38 名(アンケート回答者のうち 66.7%)の生徒さんが「自信を持てるようになった」と回答しており、大きな成果が得られる取り組みだということが検証されました。この先進的な香川同友会と三木高校の取り組みについて、現在、山形大学の松坂先生にて「共育型インターンシップがもたらす効果・影響」について調査研究が進められています。

共育型インターンシップに参加した企業は、生徒からの質問に答える過程で、社員との対話を通じて企業理念を見直す機会となりました。また、生徒たちは「働くとは何か」を改めて考え、親に問いかけるなど、共育型インターンシップが良い機会となったと感じています。特に、三木高校の生徒たちは、偏差値にこだわらない自覚と自信を持った進学やキャリアを選択しています。

一般的に実施されている就労型のインターンシップと違い、「共育型インターンシップ」は、人間らしく生きる力を育む活動として位置づけられており、「人を生かす経営」を軸に置いた活動をしている中小企業家同友会だからこそその取組と考えています。

次年度検討のための令和5年度構成員独自の取組みについて

資料 2-1

No.	事業方針	5年度独自 取組名	5年度 取組内容	開催日 開催場所 参加者数	自己予算額 (千円)	得られた成果 (見込み)、 今後の課題など	構成員名	R6 主催 共催 後援	他の構成員と の連携 R6 拡充・発展 の可能性
1	2. 地域内就職の推進 に向けたキャリア支援	外国人材活用セミナー & 交流会	外国人留学生が多く在籍する県内大学・教育機関等 及びこれまで先進的に取り組んでいる事業所、団体 と提携し、外国人採用の経験のない企業等に対し、 留学生等外国人材の活用や雇用方法に関するセミ ナーを開催する。併せて外国人留学生と中小企業が 接する機会をつくる交流イベントを開催する。これ により、外国人留学生の県内企業への理解及び就職 時の選択肢とし県内への定着を図るとともに、県内 企業の外国人留学生への理解を深め、人手不足の一 助とする。	日時：10月27日 (金) 場所：高松商工会議 所会館 参加者数：企業20 社、県内留学生20人 程度	1,000	大学・地域共創プラット フォーム香川産学官共創 チャレンジ支援補助金を活 用して実施。	香川県商工会議所 連合会（高松商工 会議所）		
2		かがわJOBフェスタ オンライン	オンラインイベントシステムを活用した合同企業説 明会 対象者：令和7年3月卒業予定者を中心とした全学 年の学生※既卒者・転職希望者・保護者も参加可能	令和5年11月23日 (木・祝) オンライン開催 未定	5,000	・今年度初めての開催 ・来年度以降の開催は未定	香川県 労働政策課		
3	3. 地域や企業の魅力 発信強化	スタートアップスクエ ア事業	産業支援機関や国の研究機関、大学などが集積した香川イ ンテリジェントパーク内の起業家向けオフィスを創業5年 以内の事業者等を対象に、安価（1年間使用料を90%減 額）に提供する。	通年募集	704	・県内での起業拠点を提供 することで、県内での起業 促進、若者の県内定着に繋 がる ・起業地としての香川の魅 力を高める施策の拡充やPR が課題	香川県 産業政策課		
4		香川県ビジネスチャレ ンジコンペ	革新的な技術やアイデアで新しい価値を生み出し、県経済 を活性化し、香川県の将来を担うスタートアップの創出と 育成を図るため、創業5年以内の事業者等を対象に、「香 川県ビジネスチャレンジコンペ」を開催し、受賞者に事業 化に要する経費等を支援する。 (特典：補助金最大500万円（補助率10/10）等)	9月13日 香川県社会福祉総合セ ンター 書類選考通過者10者及 び観覧者	15,000	・大学生を含め、比較的若 い方からも多くの申請を受 領 ・最優秀賞は20代の経営者 ・優秀なビジネスプランを 持った起業家の発掘やPR、 県外からの呼び込みが課題	香川県 産業政策課		
5	3. 地域や企業の魅力 発信強化	「瀬戸の都・高松」が 誇るビジネスアワード	【取組内容】 市内中小企業を「働き方改革部門」「産業振興部 門」「施策貢献部門」の3部門において表彰。 【目的】 優良企業等の存在とその取組を若者や就業者等に広 く周知することにより、人材の流出を抑制し中小企 業等における人材確保等を後押しすること	令和6年2月 高松市役所 表彰企業3企業	83	未実施	高松市		

No.	事業方針	5年度独自 取組名	5年度 取組内容	開催日 開催場所 参加者数	自己予算額 (千円)	得られた成果 (見込み)、 今後の課題など	構成員名	R6 主催 共催 後援	他の構成員と の連携 R6 拡充・発展 の可能性
6	4. 企業人向けリカレント教育やリスクリソグ教育の充実	高松市中小企業等人材育成事業補助金	【取組内容】 「ポリテクセンター香川」「四国職業能力開発大学校」が実施する能力開発セミナーの受講料の一部を補助。 【目的】 市内中小企業者において積極的な人材育成を図り、中小企業の抱える課題を自ら解決する能力を身につけること	【申請期間】 令和5年4月3日～令和6年2月29日	1,920	令和5年度は、申請期間中。前年度において、申請件数が少なかったことから、事業内容の見直しが必要。	高松市		
7	5. U・I・J ターンへの取組強化	県出身学生へのメール配信（シュウカツinfo@かがわ）	高校卒業時にメールアドレスを登録してもらい、香川の就活情報や観光情報などを大学在学中に定期的に配信 ※従来は実家にパンフレットを郵送	1,082名 (保護者含む)	225	・学生に直接情報発信ができる ・登録者の増加が課題 ・SNSへの移行を検討中	香川県 地域活力推進課		
8		学生向けUIターンイベント	低学年のうちから地方に目を向けてもらうため、うどん打ち体験などを含めた民間企業若手社員（5社）との交流会イベントを開催	6/17 東京（18名）	180	・参加者からは好評 ・学生への周知方法が課題	香川県 地域活力推進課		
9	6.その他：食育推進	うまいもん出前講座	内容 「瀬戸の地魚」講座 瀬戸の地魚の特長、漁獲方法、さばき方、試食等	7月12日 香川県立中央高校 40人	—	香川の地魚の魅力と美味しさ 旬の魚に対する理解 漁業者の努力	J F 香川漁連		
10		夏休みキッズチャレンジ	高松市の小学生約20人が香川おさかな大使と共に、イリコに混ざった他の生き物を探したり、イリコを解剖したりしながら、イリコについて学びます。	7月27日 高松市生涯学習館 高松市在住の小学生約20人と保護者	—	香川県の特産品であるイリコについて、理解と親しみを深めてもらう	J F 香川漁連		
11		うまいもん出前講座	内容 香川のイリコ講座 香川イリコの特長、漁獲方法、出汁の取り方、解剖	9月7日 木田郡立三木中学校 40人	—	香川産イリコの魅力と美味しさ 漁業者の苦労と努力	J F 香川漁連		

No.	事業方針	5年度独自 取組名	5年度 取組内容	開催日 開催場所 参加者数	自己予算額 (千円)	得られた成果 (見込み)、 今後の課題など	構成員名	R6 主催 共催 後援	他の構成員と の連携 R6 拡充・発展 の可能性
12	6.その他：食育推進	水産教室	内容 瀬戸の地魚「地魚」講座 瀬戸の地魚の特長、漁獲方法等	10月24日・25日 丸亀市内小学校 (4校) 340人	—	香川の地魚の魅力と美味しさ 旬の魚に対する理解 漁業の今後における問題点	J F 香川漁連		
13		うまいもん出前講座	内容 香川の乾海苔講座 香川産乾海苔の特長、養殖方法、佃煮の作り方等	11月1日 高松市立国分寺北部 小学校 120人	—	香川産乾海苔の美味しさ 漁業者の苦労と問題点	J F 香川漁連		
14		お魚教室	内容 瀬戸の地魚の説明 瀬戸の地魚の特長、漁獲方法等	11月6日・9日 多度津町内 こども園～小学校 (12校) 800人	—	香川の地魚の魅力と美味しさ 漁業の今後における問題点	J F 香川漁連		
15		水産教室	内容 海藻についての講座 稚魚放流にかかる説明等	11月17日 高松市立香西小学校 200人	—	香川の地魚の魅力と美味しさ 漁船漁業の問題点等	J F 香川漁連		
16		水産教室	観音寺市内の小学生約20人が伊吹産イリコについて 学びながら、イリコについて学びます。	11月22日 観音寺市立観音寺小 学校 小学生40人	—	香川県の特産品であるイリ コについ て、理解と親しみを深めて もらう	J F 香川漁連		
17		水産教室	内容 香川のイリコ講座 香川イリコの特長、漁獲方法、出汁の取り方等	12月14日 さぬき市立大川南小 学校 40人	—	香川産イリコの魅力と美味 しさ 漁業者の苦労と努力	J F 香川漁連		
18		水産教室	内容 海藻についての講座 稚魚放流にかかる説明等	1月10日 香川県立丸亀支援学 校 30人	—	香川の地魚の魅力と美味しさ 漁船漁業の問題点等	J F 香川漁連		

※事業方針は、下記 1 から 5 の方針

1. 学生の就職選定の実態把握と対応策の検討・実施、
 2. 地域内就職の推進に向けたキャリア支援、
 3. 地域や企業の魅力発信の強化、
 4. 企業人向けリカレント教育やリスクリング教育の充実、
 5. U・I・J ターンへの取組強化
- いずれにも該当しないときは、 6. その他

就職・産業振興部会で令和6年度以降に取り組む事項について

資料2-2

【令和5年度実施事業】

No.	分類	取組事項	その理由 又は 取組み内容	担当 構成員名	継続 廃止	他の構成員との 連携、 R6以降取組み の可能性
1	1. 学生の就職選定 の実態把握と対応策の 検討・実施	学生の就職選定の実態 把握	就職選定に係る実態把握に努めるため、アンケート調査を実施（地域活性化部会と連携） 就職先選定における学生と企業との間のギャップ等を把握するため、県内企業向けアンケートを策定・実施する	県労働政策課、 県地域活力推進 課、 香川大学		
2	2. 地域内就職の推進 に向けたキャリア支援	かがわーくフェア	合同企業説明会に向けて、各機関が連携して参加学生の増員と新たな魅力づくりを行う ターゲットを明確にし、適当な開催時期について検討する	香川県、高松商工 会議所、香川労働 局		
3		業種別オンライン県内 企業見学ツアー	香川県内企業による動画等を使った業種別の企業説明会を開催	香川大学		
4		メタバースを利用した オンライン県内企業見 学ツアー	web上での3次元仮想空間（メタバース）を活用した、 県内企業見学ツアーを実施 令和5年度は適度な規模に限定したうえで試行的に実施する	香川大学		
5		うどん県の自治体で働 こう大懇談会	香川県内の自治体等の担当者やOB／OGが一堂に集まる大懇談会を開催	香川大学		

【令和5年度実施事業】

No.	分類	取組事項	その理由 又は 取組み内容	担当 構成員名	継続 廃止	他の構成員との 連携、 R6以降取組み の可能性
6	2. 地域内就職の推進 に向けたキャリア支援	キャリア支援研修会	就職活動の始め方等や企業研究の方法を説明するた めに研修会を開催 企業側から見た就職活動のポイントを示唆していただ くために、企業側からの講師招聘を計画	香川短期大学		
7	3. 地域や企業の魅力 発信の強化	インタビューシップ	学生が企業に出向いて経営者や従業員にインタビュー する「インタビューシップ」の拡充	【高校生】 香川県中小企業家 同友会 【大学生】 高松大学、部会事 務局		
8		高校、大学等のイベン トへのブース設置	高校、大学等のイベントに香川県の特産品を出展し、 それを生産・製造している企業についても、興味を もってもらう	香川県漁業協同組 合連合会、香川県 農業協同組合中央 会、部会事務局		

【構成員からの意見】

No.	分類	取組事項	その理由 又は 取組み内容	提案 構成員名	R6 PF取 組の 有無	他の構成員との 連携、 R 6 以降取組み の可能性
9	2. 地域内就職の推進 に向けたキャリア支援	県内中小企業合同説明 会（10月）	公務員試験の合格発表や内定式などにより、内定辞退 が9月に多くなることから、内定辞退があった県内中 小企業のための合同企業説明会を実施する。	香川大学		
10		保護者向け合同企業説 明会、研修会	地域活性化部会が実施したアンケートによると、就職先決定 時に最も参考にした人は、「特にない・分からない」を除 き、「両親」が最も多くなっている。 保護者向けに企業説明会や講師を招いての研修会を実施し、 県内企業の魅力を伝えることで、学生の県内企業への就職を 図る。	香川大学		
11		工学系学部大学生向け 工場見学バスツアー	高校生向けの県内企業魅力発見バスツアーは、香川県 中小企業団体中央会が実施しているところであるが、 大学生（工学系学部）の工場等見学ツアーを実施す る。	香川大学		
12		外国人材活用セミナー & 交流会	外国人留学生が多く在籍する県内大学・教育機関等及 びこれまで先進的に取り組んでいる事業所、団体と提 携し、外国人採用の経験のない企業等に対し、留学生 等外国人材の活用や雇用方法に関するセミナーを開催 する。併せて外国人留学生と中小企業が接する機会を つくる交流イベントを開催する。	香川県商工会議所 連合会（高松商工 会議所）		

【構成員からの意見】

No.	分類	取組事項	その理由 又は 取組み内容	提案 構成員名	R6 PF取 組の 有無	他の構成員との 連携、 R 6 以降取組み の可能性
13	2. 地域内就職の推進 に向けたキャリア支援	アオ活！in文化祭	香川県からの依頼で急遽、高松東高校で地元企業5社がワークショップを通じた企業・事業紹介を行ったが、実施アンケートの結果によると非常に高評価だった。この活動は、同友会だけではなく、各団体にて様々な高校で実施することに意味があると考えるので提案する。 成果については別紙アンケート結果(資料2-3)を確認。	香川県中小企業家 同友会		
14		企業見学・職場体験 (学生や家族、親族を 対象に)	学生だけではなく、家族・親族に向けても情報の発信を行う。	J F 香川漁連		
15		若者の県内定着につな がる効果的な情報発信 の検討	同窓会等のネットワークの活用やイベント等の機会を通じた、若者の県内定着につながる効果的な情報発信（本県の魅力、県内就職のメリット等）について検討する。	香川県 地域活力推進課		
16		対面方式の合同企業説 明会 (かがわーくフェア 等)	オンライン方式の合同説明会增加する中、対面方式の合同説明会は、オンライン方式では把握できない情報（他求職者の動向、意識、企業担当者から感じる企業風土等）もあることから、一定数の開催は必要。	高松市		

【構成員からの意見】

No.	分類	取組事項	その理由 又は 取組み内容	提案 構成員名	R6 PF取 組の 有無	他の構成員との 連携、 R 6 以降取組み の可能性
17	3. 地域や企業の魅力 発信の強化	若手経営者と巡る地元 中小企業の魅力発見の ための見学ツアー	高校生や大学生を対象に普段接する機会が少ない優れた技術や製品を持つ中小企業を見学・体験することで、地元企業への就職・定着を図る。 また若手経営者との交流を深めることで仕事への魅力を知ってもらう機会を図る。	香川県中小企業団体中央会		
18		企業・団体が独自に行っている取り組み (SDG s 等) に学生が 一緒に参加する	企業・団体が行っている取り組み (SDG s 等) に学生と一緒に参加することで、課題解決や地域活性化に繋げ、また学生に対して企業アピールが出来る。	JA香川中央会		
19		県内企業向けにイン ターンシップ導入セミ	県内企業のインターンシップ受入体制を整備する。	J F 香川漁連		
20		県内大学生等への起業 機運醸成	身近なITサービス企業の台頭などで、若い世代では起業関心が高まっているものの、全世界の大学生に比べて起業関心は低い。(GUESSS 2021 Japanese National Report) 県内における学生層の起業機運の醸成を図ることで、若者の県内での起業・県内定着にも繋げる。 ①起業機運醸成イベント ②スタートアップ企業見学ツアー	香川県 産業政策課		



in 高松東高校 アンケート集計結果

実施日：2023年9月8日（金）

参加生徒基礎データ

学年	1	2	3	未回答	総計
三木	13	10	24		47
山田	3	10	15		28
協和	1	10	13	2	26
木太	2	6	5		13
玉藻		1	9		10
古高松	4	1	4		9
屋島	2	1	2		5
さぬき南	2	1	1		4
紫雲	1	1	1		3
龍雲			3		3
香川第一			2		2
長尾			2		2
香東			1		1
桜町		1			1
太田		1			1
大川			1		1
未回答		2			2
総計	28	45	83	2	158

⇒高松東高は、三木中、山田中、協和中等の地元の若者が通う高校という特性がある。

1. 高校卒業後の進路予定を教えてください。

学年	1	2	3	未回答	総計
進学希望／県外	13	18	36	2	69
進学希望／県内	14	24	43		81
就職希望／県外		1			1

就職希望／県内			1		1
検討中	1	1	3		5
未回答		1			1
総計	28	45	83	2	158

⇒高松東高は、進学を希望している生徒がほとんどの高校という特性がある。

2. 訪問（体験）したブースを教えてください。

学年	1	2	3	未回答	総計
UMOGA（協和）	1	7	16		24
植木センター広瀬（協和）	8	3	18		29
三好製作所（山田）	4	15	26	2	47
グッドワーク（三木）	9	20	22		51
瀬戸内ネオン（古高松）	2	8	14		24
未回答	4				4
総計	28	53	96	2	179

⇒ワークショップは、簡単に体験できるもの、最新技術のものが喜ばれる傾向にある。

3. 地元の中小企業がこんな仕事をしていることを知っていましたか？

学年	1	2	3	未回答	総計
知っていた	4		3	1	8
知らなかった	24	45	80	1	150
総計	28	45	83	2	158

⇒高校生は地元企業のことをほとんど知らない。ただし、アオ活！in 高松東高を通じて認知度は高まった。

4. 地元の中小企業の仕事はおもしろそうだと思いますか？

学年	1	2	3	未回答	総計
おもしろそう	28	43	78	1	150
普通		2	5	1	8
おもしろくなさそう					0
総計	28	45	83	2	158

⇒アオ活！in 高松東高を通じて中小企業の仕事の面白さに少し触れてもらった。

5. 将来香川県で就職したいですか？

学年	1	2	3	未回答	総計
進学希望／県外	13	18	36	2	69
県外就職したい	1	6	9		16
県内就職したい		1	1		2
県内就職したい・参加して思った	3		2		5
県内就職したい・前から思っていた	2	5	6	2	15
検討中	7	6	18		31
進学希望／県内	14	24	43		81
県外就職したい		1	3		4
県内就職したい		1	1		2
県内就職したい・参加して思った	1	3	1		5
県内就職したい・前から思っていた	4	11	16		31
検討中	9	8	22		39
就職希望／県外		1			1
県外就職したい		1			1
就職希望／県内			1		1
県内就職したい・前から思っていた			1		1
検討中	1	1	3		5
未回答		1			1
総計	28	45	83	2	158

⇒高松東高の生徒は、検討中の生徒を除いて、ほとんどが県内就職を希望している。

⇒アオ活！in 高松東高の実施によって、10名の生徒が県内就職をしてみたいと考えてくれるようになった。

6. あなたの将来の夢はなんですか？

看護師×10	飲食で自営業したい×2	ゲームクリエイター
社長・経営者×8	獣医看護師×2	航空整備士
教員・教師×7	CA	考古学者
歯科衛生士×6	IT 関連	作業療法士
警察官×5	Youtuber	社会福祉士
保育士×5	アスレティックトレーナー	ブリーダー
スポーツ関係×4	医療系	プログラマー
理学療法士×4	医療事務	芸能関係

公務員×4	宇宙飛行士	放射線技師
調理師・料理人×4	英語 or スペイン語が扱える仕事	ホテルのウエイトレス
お金持ち×3	会社員	薬剤師
建築士×3	海上自衛官	ロボットエンジニア
ウェディングプランナー×3	管理栄養士 or 食の研究職	助産師
デザイナー×3	理学療法士	ネイリスト・パティシエ
SE×2	刑務官	パティシエ
美容師×2	人を助ける仕事	未定×16
皆を笑顔にさせること！×2	ヘアメイクアップアーティスト	

「メタバースを利用したオンライン県内企業等見学ツアー」事業 (産学官共創チャレンジ支援補助金対象事業) 報告

○実施事業の概要

令和5年8月29日(火)、県内への若者定着を図る観点から、県内大学等の学部1、2年生をはじめとする全学年を対象に、メタバースを利用してオンライン上のオープンな場で企業等見学ツアーを実施。県内学生50名(香川大学41名、四国学院大学5名、高松大学4名)が参加した。

参加企業等は17団体(企業15、自治体2)で、説明・質疑応答25分とし、最大6つのブースを訪問できるようにした。

学生アンケートの評価結果は、「満足」と「やや満足」の合計で9割を超えた。

参加企業等アンケートの評価結果は、「満足」と「やや満足」の合計で8割を超えた。メタバース開催について「良かった」が8割を超えた。

令和5年8月30日(水)～9月5日(火)は自由見学期間とし、27名(香川大学27名)が参加した。

○本事業により得られた成果(事業計画で設定した課題解決に向けた進捗などを記載)

事業実施にあたり、低学年生の業界研究企業セミナー等への参加者の少なさを課題としていたが、今回は参加学生50名のうち、37名が学部1、2年生で低学年生の参加者が74%となった。また、参加企業にとってはメタバースを活用した地域DXの取組みのひとつとなった。

○事業の評価(事業計画で設定した目標、成果検証・効果測定方法を活用して記載)

事業実施前後で参加学生にアンケート調査を行い、県内の企業や業界に対する関心、仕事に対する意識の向上を検証した。

【参加目的の達成】

「県内企業の情報を得る」が一番向上した。(＋42%)

次いで、「知りたい企業の話を聞く」(＋28%)、「複数の企業情報を得る」(＋23%)「直接行かずに情報を得る」(＋23%)となった。

【知ることができた】

「企業の課題」(＋30%)、「やりたいことができそうか」(－16%)についてはあまり情報が得られていない。

【就職先として県内企業等は選択肢となるか】

「なる」「どちらかといえばなる」の合計(72.1%)、「ならない」「どちらかといえばならない」の合計(27.9%)の比率は参加前後での差は無かった。

但し、「なる」→「どちらかといえばなる」、「ならない」→「どちらかといえばならない」といずれも「どちらかといえば」に変化した。

【仕事に関する意識】は、以下の項目が特に向上した。

「将来のために、在学中にやっておくべきことの計画を立てること」

「望んでいた職業が、自分の考えていたものと異なっていた場合、もう一度検討し直すこと」

「自分の将来設計にあった職業を探すこと」

「自分の興味・能力に合うと思われる職業を選ぶこと」

以上のことから、メタバースで県内企業等の話を聞くことで、企業や業界に対する視野が広がり、自身の興味関心や仕事に対する意識が向上し、低学年生の今後の学生生活の目標達成への意識向上につながったと考えられる。

なお、本事業を香川大学の授業の一部としたため、アンケート回答者には医学部生も含まれている。

○今後の課題と対応

香川大学の参加学生のうち28名はキャリア教育の授業を履修している学生で、自主参加学生は他大学を含め22名と少ない。参加学生の確保は課題である。また、オンライン企業説明会と開催時期も近く、参加企業等にメタバース事業の目的が伝え切れていなかったため、参加学生と参加企業の参加目的にずれが生じていた。次回以降の実施については、参加企業からの改善要望（説明回数、休憩時間）や開催時期、授業の一部とできるかどうか等も含め検討が必要である。

若手経営者と巡る「キラリと輝く地元中小企業の魅力発見ツアー」事業 (産学官共創チャレンジ支援補助金対象事業) 報告

○実施事業の概要

令和 5 年 7 月 21 日、香川県内高校生を対象に普段接する機会が少ない優れた技術を持つ中小企業の「会社・工場」を見学・体験し、熱い思いをもった若手経営者や社員の考え方等に触れてもらうことで地元企業の仕事を身近に感じてもらい、地元企業で働くことを考えるきっかけとなるよう「若手経営者と巡るキラリと輝く地元中小企業の魅力発見ツアー」を実施。香川県教育委員会高校教育課の協力のもと、県内高校及び進路指導主事において事業の周知を行い、県内高校生 18 名が参加した。

船のガスタンクプラントにおいて世界トップシェアを誇る「泉鋼業株式会社」(高松市朝日町)、地域経済の担い手となりうる事業者として経済産業省により選定された「地域未来牽引企業」である株式会社アムロンの鉄鋼製品の薄板加工工場「株式会社アムロン テクノ香川」(高松市香川町)、水道管のジョイント部分の開発・製造・販売までをトータルで行う「株式会社川西水道機器」(綾歌郡綾川町)を訪問し、参加者は担当者からの説明に熱心に耳を傾けていた。

また、ランチミーティングでは高校生と若手経営者ら 4 人 1 組 7 グループに分かれ、昼食を兼ねた交流会を行った。経営者らから業界や企業の魅力、仕事の内容について、高校生から自分たちの興味のあること、学校で専攻していることなどについてお互い雑談を交えながら、相互の理解を深めることができた。

その他、高松大学正岡教授よりアドバイスをいただき、バス移動中に訪問企業や香川の中小企業についてのクイズ大会を行った。

参加した高校生からは「参加して良かった。普段は絶対に入れない現場に行き、初めて見るものばかりで楽しかった。次回があるならもっと香川県の企業を見学してみたい」との感想が聞かれた。



○本事業により得られた成果（事業計画で設定した課題解決に向けた進捗などを記載）

香川県内高校生に熱い思いをもった若手経営者や社員の考え方等に触れてもらうことで地元企業の仕事を身近に感じてもらうことができた。

また、若手経営者とバスでの移動中やランチミーティングの際にお互い本音で語り合う時間を設けることにより、経営者にとっても自社をアピールすることができた。

○事業の評価（事業計画で設定した目標、成果検証・効果測定方法を活用して記載）

効果測定方法は「バスツアーに参加した高校生へのアンケート」であり、事業計画書において「ポジティブな評価 100%」を目標と掲げていた。今回のアンケートの集計結果では、参加者全員から「香川の中小企業の魅力について伝わった」との回答であったため、本会としては、事業目標を100%達成したものとする。高校生からは、「建設業やIT系の企業も見学したい」といった意見が寄せられていることから、次回開催時には、製造業以外の企業見学を検討していきたい。

○今後の課題と対応

いくつかの高校と協議し、開催日を夏季休暇初日に設定したが、課外授業や部活動も大会に近い時期でもあり、多くの高校生の参加が難しかったため、開催時期については検討が必要である。また、参加申込方法についても高校生が各自個別に申し込む方法であったため、高校生の手元に届くよう案内チラシの追加発注も必要になった。学校単位での申込みなど、参加申込方法についても検討の必要がある。

以上を踏まえ、今後も若者が中小企業等や産業の理解を深め、将来的に香川県に関わるきっかけづくりにつながる取組みを継続していきたい。

「アンケート調査の詳細分析等と対策検討」

WG資料

令和5年10月30日

アンケート調査概要

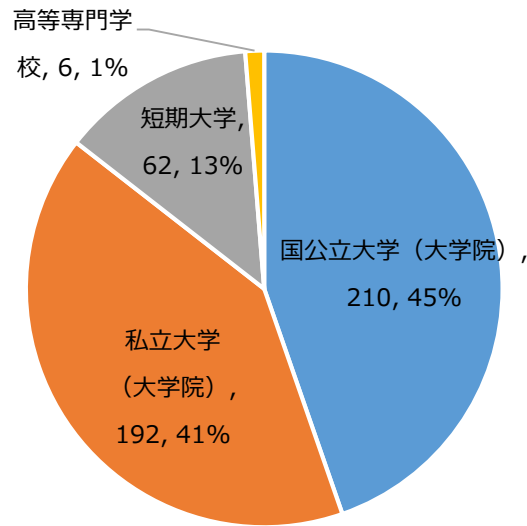
- 実施期間 : 令和5年1月24日（火）～2月17日（金）
- 対象者 : 令和4年度に大学等（大学・短大・大学院・高専）を卒業予定で、就職活動を行った、
 - ① 香川県内の学生（回答協力：県内8校）
 - ② 香川県外に進学した香川県出身の学生（回答協力：県と就職支援協定等を締結する31校）
- 有効回答件数 : 470件（県内355名、県外115名）
- 調査方法 : Webアンケート調査
- 調査目的 : 県内企業の人材確保や若者の県内定着に向けた取組みの参考とする
- 調査内容 : 全22問（就職活動の状況、就職先の選定、香川県での就職について、下表のとおり）

No.	区分	設問	回答
1	属性	性別	単一
2	属性	大学種別（任意で具体名）	単一
3	属性	大学所在地	単一
4	属性	在籍学部等	単一
5	属性	出身地域（県内出身地域）	単一
6	属性	就職先地域（主な勤務地）	単一
7	就職活動の状況	就職活動を本格的に開始した時期	単一
8	就職活動の状況	就職活動開始時の希望業種	3つまで
9	就職活動の状況	就職活動開始時に重視していたこと	3つまで
10	就職活動の状況	就職活動で役に立った情報収集方法	3つまで

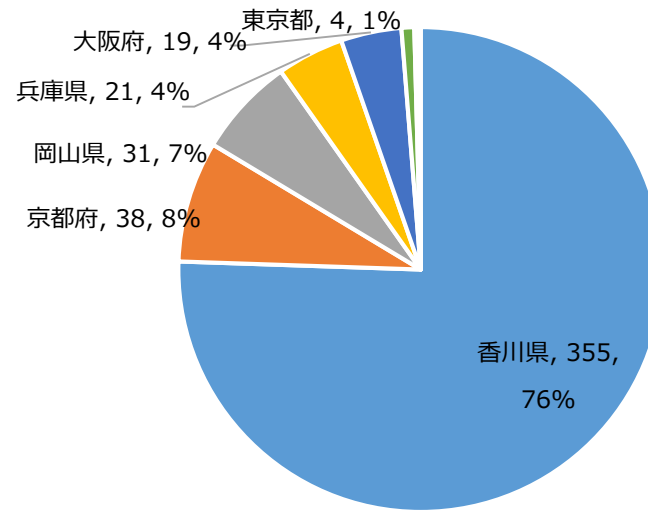
No.	区分	設問	回答
11	就職先の選定	就職活動で得た内定の数	単一
12	就職先の選定	就職活動を終えた時期	単一
13	就職先の選定	就職先の企業の主な業種	単一
14	就職先の選定	就職先の企業の規模	単一
15	就職先の選定	就職先決定時に重視したこと	3つまで
16	就職先の選定	就職先決定時に最も参考にした者	単一
17	香川県での就職	就職活動における香川県内就職の検討	単一
18	香川県での就職	香川県内の就職検討時に困難に感じたこと	複数
19	香川県での就職	香川県内（県外）での就職を決めた理由	3つまで
20	香川県での就職	香川県への就職希望者を増やす取組み	3つまで
21	香川県での就職	若者の県外転出超過の原因と考えるもの	3つまで
22	香川県での就職	香川県への愛着を感じるか	単一

◆ アンケート調査 回答者の属性

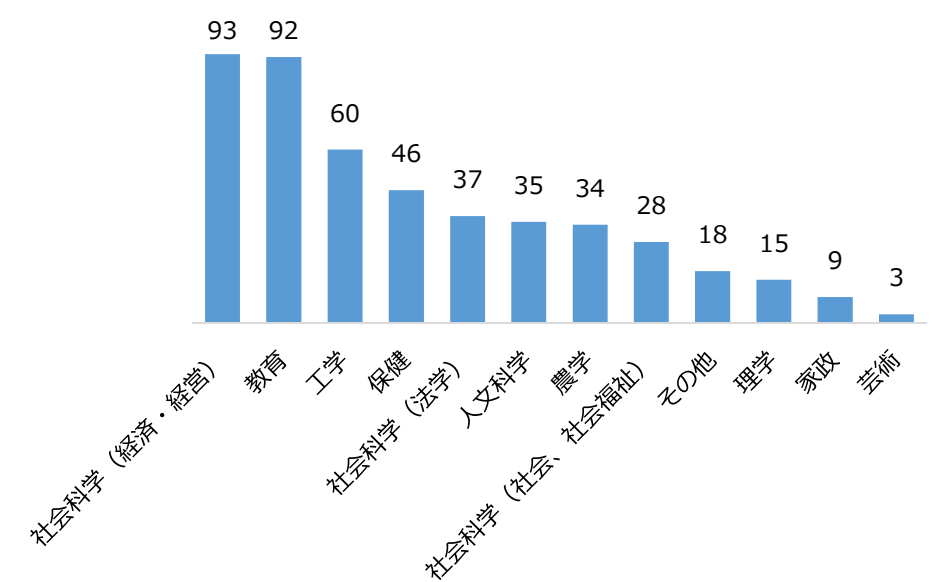
【大学の種別】



【大学の所在地】



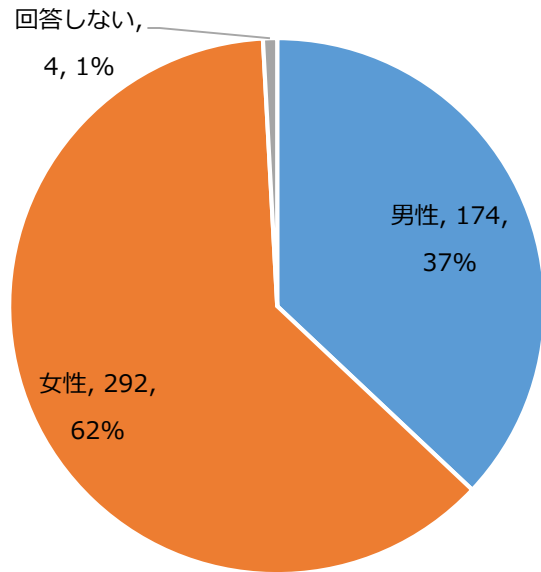
【学部】



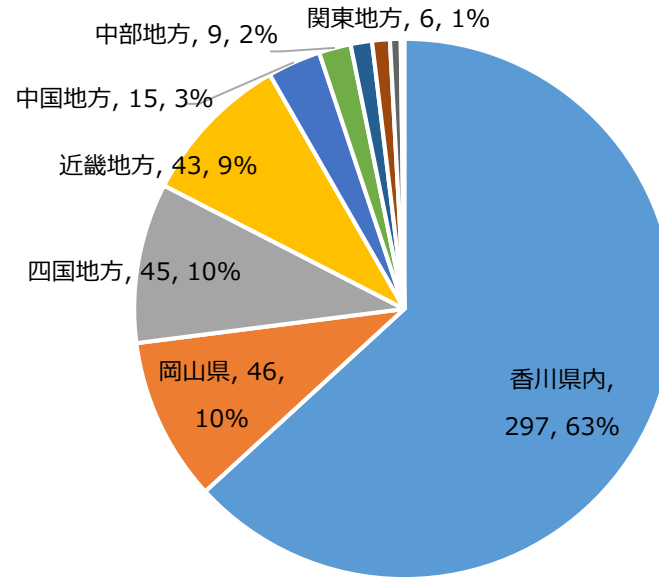
- 大学の種別で見ると、国公立大学の学生が45%、私立大学が41%、短期大学が13%、高等専門学校が1%。
- 大学の所在地では、県内大学が76%、県外が24%。
- 学部別では、経済学部・経営学部などの社会科学系及び教育学部の回答者数が多い。

◆ アンケート調査 回答者の属性

【性別】

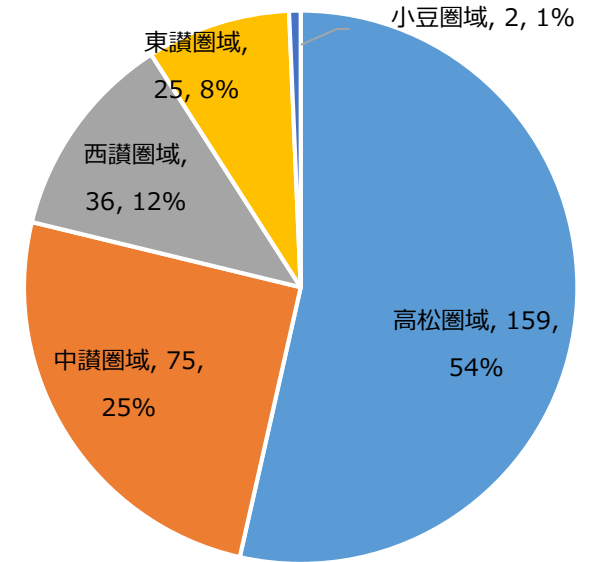


【出身都道府県】



【県内出身地域】

※県内出身者297名のみ



- **性別**では、**男性**の回答者が全体の**37%**、**女性**が**62%**。
- **出身都道府県別**では、**香川県出身者**が全体の**63%**、次いで岡山県、香川を除く四国 3 県、近畿地方の出身者が9～10%で続く。
- 県内出身者のうち、**高松圏域出身者**が全体の**54%で最も多く**、中讃圏域が25%、西讃圏域が12%、東讃圏域が8%、小豆圏域が1%となっている。

※ 調査方法の性質上、回答者の性別、大学の種別等の属性の比率は実際の比率と比べ、偏りが発生していると考ええる。

インタビュー調査概要

- 実施期間 : 令和5年5月～8月
- 対象者 : 令和5年度に大学等を卒業予定で、就職活動を行った香川県内の学生及び県内企業等の若手社会人
- 実施対象者数 : 17名
- 調査方法 : グループインタビュー（2～6名/回）
- 調査目的 : 令和4年度実施のアンケート調査結果を基に、その内容を補完し、県内企業の人材確保や若者の県内定着に向けた取組みを検討する上での参考とする
- 調査内容 : 就職先決定時に重視したこと等の聞き取り等

団体名	学部	性別/人数	勤務地/人数						就職先の業界	
香川大学	経済学	10月以降、他大学でも実施予定								情報通信業、公務・団体
		女性 7	県内 2	県外 2	未定 3	製造業、情報通信業、サービス業、不動産・物品賃貸業、公務・団体 など				
	創造工学部	男性 4	県内 0	県外 3	未定 1	情報通信業				
		女性 2	県内 0	県外 1	未定 1	卸売業・小売業、医療・福祉関連業				
	県内 情報通信業		男性 2	県内 2						
合計		19	県内 4	県外 9	未定 6					

◆ 就職活動の時期（開始と終了）

【アンケート調査結果】

大企業：従業員1,000人以上 中堅企業：100人以上～1,000人未満 中小企業：100人未満

就職活動を本格的に開始した時期		6.0%	23.6%	13.8%	12.3%	20.0%	13.4%	5.7%	2.6%	2.6%
		卒業の前々年度以前	卒業の前年度の4～6月	卒業の前年度の7～9月	卒業の前年度の10～12月	卒業の前年度の1～3月	卒業の年度の4～6月	卒業の年度の7～9月	卒業の年度の10月以降	分からない・覚えていない
合計 (n=470)		6.0%	23.6%	13.8%	12.3%	20.0%	13.4%	5.7%	2.6%	2.6%
就職先の勤務地	県内 (n=229)	5.7%	20.1%	14.4%	13.1%	16.6%	14.8%	8.3%	3.9%	3.1%
	県外 (n=241)	① 6.2%	27.0%	13.3%	11.6%	23.2%	12.0%	3.3%	1.2%	2.1%
就職先の規模	大企業 (n=160)	② 5.6%	11.3%	11.9%	16.3%	21.9%	28.1%	3.8%	0.0%	1.3%
	中堅企業 (n=129)	9.3%	8.5%	16.3%	13.2%	22.5%	26.4%	2.3%	0.8%	0.8%
	中小企業 (n=69)	2.9%	23.2%	10.1%	8.7%	15.9%	17.4%	11.6%	7.2%	2.9%
	分からない (n=90)	4.4%	16.7%	17.8%	7.8%	15.6%	21.1%	11.1%	2.2%	3.3%
就職先未決定 (n=22)		4.5%	13.6%	9.1%	9.1%	22.7%	4.5%	0.0%	18.2%	18.2%

就職活動を終了した時期		6.0%	8.9%	12.1%	13.2%	7.6%	15.6%	12.3%	8.7%	4.5%	6.3%	2.9%	0.7%	1.3%
		2022年3月以前	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	2022年9月	2022年10月	2022年11月	2022年12月	2023年1月	2023年2月以降	分からない・覚えていない
合計 (n=448)		6.0%	8.9%	12.1%	13.2%	7.6%	15.6%	12.3%	8.7%	4.5%	6.3%	2.9%	0.7%	1.3%
就職先の勤務地	県内 (n=217)	4.1%	8.8%	7.4%	9.7%	6.9%	16.1%	12.0%	13.4%	7.4%	7.8%	3.7%	0.9%	1.8%
	県外 (n=231)	① 7.8%	9.1%	16.5%	16.5%	8.2%	15.2%	12.6%	4.3%	1.7%	4.8%	2.2%	0.4%	0.9%
就職先の規模	大企業 (n=160)	② 7.5%	15.0%	12.5%	15.0%	9.4%	13.1%	16.9%	5.0%	0.6%	3.1%	1.9%	0.0%	0.0%
	中堅企業 (n=129)	5.4%	10.9%	22.5%	18.6%	5.4%	16.3%	6.2%	7.0%	1.6%	3.9%	1.6%	0.8%	0.0%
	中小企業 (n=69)	8.7%	2.9%	5.8%	11.6%	10.1%	7.2%	8.7%	13.0%	7.2%	14.5%	7.2%	1.4%	1.4%
	分からない (n=90)	2.2%	0.0%	1.1%	3.3%	5.6%	25.6%	15.6%	14.4%	13.3%	8.9%	3.3%	1.1%	5.6%

【アンケート調査からわかったこと】

- 全体の**76%**が卒業前年度の終わりまでに就職活動を開始し、1社以上から内定を得た回答者の**76%**が卒業年度の9月末までに就職活動を終了している。

- ① 県外企業に就職する学生の方が、県内企業に就職する学生よりも**就職活動を早く開始し、早く終了している傾向**が読み取れる。
- ② 大企業又は中堅企業に就職する学生の方が、中小企業に就職する学生よりも**就職活動を早く開始し、早く終了している傾向**が読み取れる。

【インタビュー調査で出た意見等】

- 3年生の春～夏に就職活動を本格的に開始する。
- 志望する業界等が定まっていない場合は、自己分析や他己分析から開始する。
- 3年生の夏季休暇中にインターンシップに参加する学生もいる。

◆ 就職活動開始時の希望業種

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

就職活動開始時の希望職種		公務・団体	教育・学習支援業	医療・福祉関連業	製造業	金融業・保険業	情報通信業	電気・ガス・水道業	サービス業	特にこだわりはなかった	その他
合計 (n=470)		20.2%	19.8%	17.4%	14.9%	12.6%	12.3%	10.2%	8.5%	7.9%	36.2%
性別	男性 (n=174)	① 23.6%	5.7%	9.8%	21.8%	14.9%	20.7%	17.8%	6.9%	9.2%	40.2%
	女性 (n=292)	18.2%	27.4%	22.3%	11.0%	11.0%	7.5%	5.5%	9.6%	7.2%	33.6%
	回答しない (n=4)	25.0%	75.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%	50.0%
大学所在地	県内 (n=355)	18.9%	22.3%	18.0%	14.9%	11.0%	11.8%	9.0%	7.9%	7.6%	36.6%
	県外 (n=115)	24.3%	12.2%	15.7%	14.8%	17.4%	13.9%	13.9%	10.4%	8.7%	34.8%
県内就職検討	県内を主に検討 (n=220)	② 19.5%	28.2%	21.8%	10.0%	12.7%	6.4%	9.5%	6.8%	9.5%	29.5%
	県内や周辺を主に検討 (n=63)	27.0%	12.7%	12.7%	7.9%	15.9%	17.5%	22.2%	9.5%	1.6%	60.3%
	場所にこだわらず検討 (n=41)	17.1%	4.9%	14.6%	46.3%	9.8%	9.8%	7.3%	12.2%	14.6%	41.5%
	県外を主に検討したが一部県内を検討 (n=68)	26.5%	17.6%	13.2%	19.1%	13.2%	19.1%	11.8%	11.8%	2.9%	32.4%
	検討しなかった (n=78)	② 12.8%	11.5%	14.1%	14.1%	10.3%	20.5%	2.6%	7.7%	9.0%	35.9%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

- **就職活動開始時の希望業種**について、全体では、「**公務・団体**」が**最も多く全体の20.2%**が希望しており、次いで「**教育・学習支援業**（19.8%）」、「**医療・福祉関連業**（17.4%）」が多い。
- ① **男性**は「**公務・団体(23.6%)**」、「**製造業(21.8%)**」、「**情報通信業(20.7%)**」の順に多く、**女性**は「**教育・学習支援業(27.4%)**」、「**医療・福祉関連業(22.3%)**」の順に多い。（P. 4 記載のとおり、学部別の回答者比率の偏り等による影響もあると考えられる）
- ② **県内就職を主に検討した人**は、「**教育・学習支援業(28.2%)**」、「**医療・福祉関連業(21.8%)**」が多く、**県内就職を検討しなかった人**は、「**情報通信業(20.5%)**」が多い。

◆ 就職先の主な勤務地

【アンケート調査結果】

就職先の主な勤務地		48.4%	16.3%	14.7%	7.1%	6.7%	3.1%	1.8%	0.9%	0.7%	0.2%
		香川県内	近畿地方	関東地方	岡山県	四国地方 (香川県以外)	中国地方 (岡山県以外)	中部地方	北海道・東北地方	九州地方	海外
性別	合計 (n=448)	48.4%	16.3%	14.7%	7.1%	6.7%	3.1%	1.8%	0.9%	0.7%	0.2%
	男性 (n=170)	① 36.5%	20.6%	19.4%	6.5%	7.1%	4.7%	2.4%	1.2%	1.2%	0.6%
	女性 (n=274)	55.5%	13.9%	12.0%	7.7%	6.6%	2.2%	1.5%	0.4%	0.4%	0.0%
出身地	回答しない(n=4)	75.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	県内 (n=282)	② 66.0%	13.8%	11.3%	2.5%	2.8%	1.1%	1.1%	1.4%	0.0%	0.0%
	県外 (n=166)	18.7%	20.5%	20.5%	15.1%	13.3%	6.6%	3.0%	0.0%	1.8%	0.6%
大学所在地	県内 (n=337)	49.9%	13.6%	13.6%	8.0%	7.1%	3.9%	2.1%	0.6%	0.9%	0.3%
	県外 (n=111)	③ 44.1%	24.3%	18.0%	4.5%	5.4%	0.9%	0.9%	1.8%	0.0%	0.0%
	医療・福祉関連業 (n=70)	55.7%	21.4%	7.1%	2.9%	10.0%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%
就職先の業種	公務・団体 (n=68)	48.5%	10.3%	11.8%	10.3%	8.8%	5.9%	1.5%	1.5%	1.5%	0.0%
	教育・学習支援業 (n=66)	69.7%	4.5%	4.5%	10.6%	9.1%	1.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	製造業 (n=63)	④ 36.5%	23.8%	20.6%	4.8%	1.6%	3.2%	6.3%	1.6%	1.6%	0.0%
	情報通信業 (n=33)	15.2%	27.3%	33.3%	12.1%	3.0%	3.0%	3.0%	0.0%	3.0%	0.0%
	金融業・保険業 (n=31)	61.3%	12.9%	12.9%	3.2%	3.2%	6.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	サービス業 (n=21)	28.6%	33.3%	23.8%	0.0%	9.5%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
	建設業 (n=20)	30.0%	15.0%	20.0%	15.0%	15.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	5.0%
	その他 (n=98)	53.1%	12.2%	14.3%	8.2%	5.1%	5.1%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%

【アンケート調査からわかったこと】



- 1社以上から内定を得た回答者のうち、**48.4%が香川県内の企業等に就職し、51.6%が県外の企業等に就職している。**
- ① 男女別で見ると、**男性は36.5%が県内に就職、女性は55.5%が県内に就職**しており、女性の県内就職率が高い。
- ② 出身地別で見ると、**県内出身者は66.0%が県内に就職、県外出身者(県内大学在籍)の県内就職率は18.7%に留まった。**
- ③ 大学所在地別で見ると、県内大学等の県内就職率（49.9%）に比べ、**県外大学等（県内出身）の県内就職率（44.1%）が低い。**
- ④ **県内就職の割合が高い業種は、教育・学習支援業(69.7%)、金融業・保険業(61.3%)、医療・福祉関連業(55.7%)**
県内就職の割合が低い業種は、情報通信業(15.2%)、サービス業(28.6%)、建設業(30.0%)、製造業(36.5%)

◆ 就職活動開始時に重視していたこと

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

就職活動開始時に重視したこと		企業等の安定性	企業等の成長性	企業等の知名度が高いこと	給与等が高いこと、福利厚生が充実していること	希望する勤務地であること	残業が少ない・休暇が取得できるなど、ワークライフバランスが充実していること	柔軟な働き方（テレワーク、時差出勤など）ができること	自分のやりたい仕事やりがいがあること	自分の能力や専門性を活かせること	社会貢献ができること	地元で働けること	転勤がない（少ない）こと	女性が活躍できること	子育て支援が充実していること	職場の雰囲気の良いこと	人事担当者等の社員の印象が良いこと
合計（n=470）		34.3%	5.7%	7.0%	46.2%	30.2%	25.3%	6.2%	36.0%	16.6%	9.6%	21.1%	7.2%	2.3%	2.3%	18.7%	2.3%
性別	男性（n=174）	① 40.2%	9.2%	10.9%	49.4%	30.5%	21.3%	8.0%	34.5%	18.4%	9.8%	② 14.4%	4.6%	0.0%	0.0%	11.5%	1.1%
	女性（n=292）	31.2%	3.8%	4.8%	44.2%	30.1%	27.7%	5.1%	36.6%	15.4%	9.2%	25.0%	8.6%	3.8%	3.8%	23.3%	3.1%
	回答しない（n=4）	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
県内就職検討	県内を主に検討（n=220）	32.7%	2.3%	5.9%	③ 37.7%	33.6%	23.2%	5.9%	31.8%	17.7%	11.8%	29.5%	9.1%	1.8%	3.2%	15.5%	1.8%
	県内や周辺を主に検討（n=63）	36.5%	9.5%	6.3%	49.2%	27.0%	31.7%	3.2%	34.9%	19.0%	7.9%	15.9%	6.3%	1.6%	1.6%	19.0%	4.8%
	場所にこだわらず検討（n=41）	43.9%	9.8%	9.8%	65.9%	9.8%	24.4%	4.9%	39.0%	14.6%	7.3%	4.9%	2.4%	4.9%	2.4%	43.9%	2.4%
	県外を主に検討したが一部県内を検討（n=68）	32.4%	4.4%	10.3%	50.0%	32.4%	25.0%	13.2%	38.2%	14.7%	13.2%	16.2%	4.4%	2.9%	2.9%	20.6%	0.0%
	検討しなかった（n=78）	33.3%	11.5%	6.4%	53.8%	32.1%	26.9%	3.8%	44.9%	14.1%	2.6%	14.1%	7.7%	2.6%	0.0%	12.8%	3.8%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

➤ 全体では、「給与等が高いこと、福利厚生が充実していること(46.2%)」が一番多く、次いで、「自分のやりたい仕事ができること、やりがいがあること(36.0%)」、「企業等の安定性（34.3%）」が多い。

① **男性**は女性に比べ、給与や企業の安定性、知名度など、**仕事の条件やステータスを重視する傾向**がある。

② **女性**は男性に比べ、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、**仕事・生活の環境を重視する傾向**がある。

③ **県外企業を主に検討した学生**は、県内企業を主に検討した学生に比べると、**給与等を重視する割合が高い**。

【インタビュー調査で出た意見等】

➤ **給与が高い企業等を検討していたが**、地元（中国地方）で暮らすには、そこまでの給与が必要ではないと思い、給与の優先度を下げた。

➤ まずは**知名度が高いところ（自分が知っているところ）**を探していた。

◆ 就職活動の情報収集で役に立ったもの

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

情報収集の方法		56.4%	11.9%	21.5%	26.6%	10.2%	23.6%	19.8%	2.1%	5.3%	20.4%	5.5%	2.8%	2.8%	6.0%
		大手就職サイト	香川県の就職サイト	合同企業説明会（リアル）への参加	合同企業説明会（オンライン）への参加	SNS(Twitter, Instagram等)	インターンシップへの参加	友人（先輩・知人・家族）のロコミ	就活メディア（紙媒体）	OB・OG訪問	学内キャリアセンター	学内のセミナー	学内の就職サークル	キャリア支援団体	ハローワーク
合計（n=470）		56.4%	② 11.9%	21.5%	26.6%	10.2%	23.6%	19.8%	2.1%	5.3%	20.4%	5.5%	2.8%	2.8%	6.0%
大学所在地	県内（n=355）	52.7%	10.1%	20.6%	24.2%	10.4%	23.4%	20.8%	2.3%	5.4%	20.6%	5.9%	3.1%	2.8%	5.9%
	県外（n=115）	① 67.8%	17.4%	24.3%	① 33.9%	9.6%	24.3%	16.5%	1.7%	5.2%	20.0%	4.3%	1.7%	2.6%	6.1%
県内就職検討	県内を主に検討（n=220）	③ 42.7%	18.6%	20.5%	③ 18.2%	7.7%	③ 15.5%	24.5%	2.3%	5.9%	④ 25.9%	6.4%	4.1%	4.1%	8.2%
	県内や周辺を主に検討（n=63）	69.8%	11.1%	34.9%	38.1%	9.5%	33.3%	14.3%	0.0%	1.6%	④ 28.6%	6.3%	0.0%	0.0%	7.9%
	場所にこだわらず検討（n=41）	75.6%	9.8%	14.6%	34.1%	9.8%	29.3%	14.6%	0.0%	2.4%	14.6%	9.8%	0.0%	4.9%	2.4%
	県外を主に検討したが一部県内を検討（n=68）	64.7%	5.9%	19.1%	44.1%	10.3%	36.8%	14.7%	5.9%	7.4%	11.8%	2.9%	2.9%	1.5%	4.4%
	検討しなかった（n=78）	66.7%	0.0%	19.2%	21.8%	17.9%	24.4%	17.9%	1.3%	6.4%	9.0%	2.6%	2.6%	1.3%	1.3%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

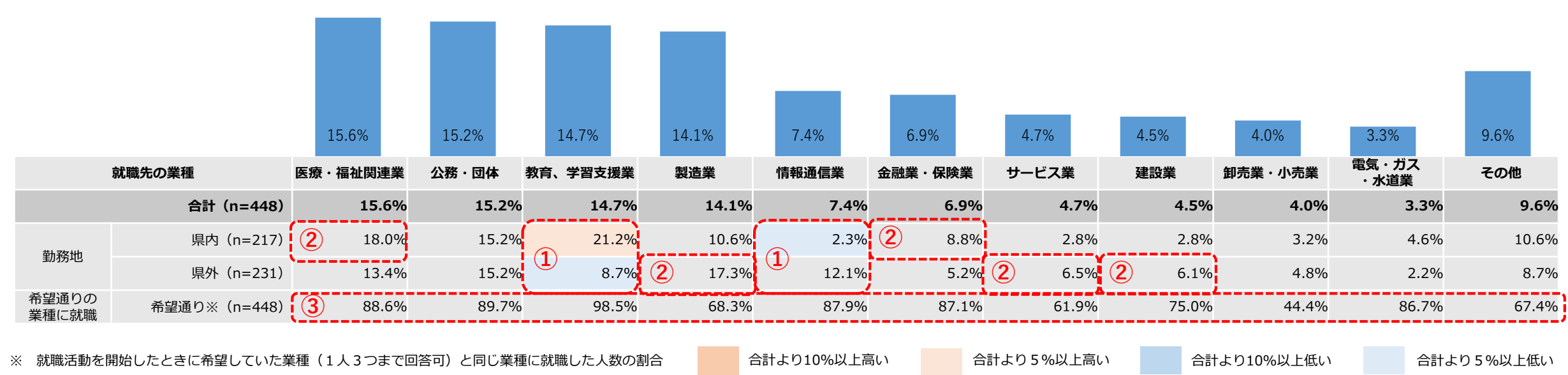
- **全体では、「大手就職サイト(56.4%)」が最も役に立ったと感じており、次いで「合同企業説明会（オンライン）への参加（26.6%）」、「インターンシップへの参加（23.6%）」が多かった。**
- ① **県外大学の学生の方が、「大手就職サイト(67.8%)」、「合同企業説明会（オンライン）(33.9%)」を役に立ったものとして回答している。**
- ② **「香川県の就職サイト」は、全体で11.9%だが、県外大学の学生は17.4%と県内大学の学生に比べて高い。**
- ③ **県内就職を主に検討した人は、全体に比べて、「大手就職サイト」、「合同企業説明会（オンライン）」、「インターンシップへの参加」が低い。**
- ④ **県内就職を主に検討した人、県内やその周辺での就職を主に検討した人は、学内キャリアセンターをより活用している。**

【インタビュー調査で出た意見等】

- **マイナビ、リクナビはインタビュー対象者の全員が利用（公務員志望者を除く）。**
- **香川県内の企業もマイナビ、リクナビで情報収集を行う。**
- **スカウト系サイト、ロコミ系サイトも利用されており、スカウト系サイトを通して就職先を決めた人もいる。**
- **香川県の就職サイトは認知されていない。**
- **大学のキャリアセンターは予約制で入りにくい。**

◆ 就職先の業種

【アンケート調査結果】



【アンケート調査からわかったこと】

- 1社以上から内定を得た回答者のうち、「医療・福祉関連業」への就職が**15.6%で最も多く**、次いで、「公務・団体」（15.2%）、「教育・学習支援業」（14.7%）、「製造業」（14.1%）と続く。
- ① 勤務地別で見ると、県内就職・県外就職で大きな差があるのは「教育・学習支援業」と「情報通信業」であり、「教育・学習支援業」は県内就職が多く、「情報通信業」は県外就職が多かった(12.1%)。
- ② 全体に比べて県内就職の比率が高い業種は「教育・学習支援業」のほかに「医療・福祉関連業」、「金融業・保険業」であり、県外就職の比率が高い業種は「情報通信業」のほかに「製造業」、「サービス業」、「建設業」だった。
- ③ 就職活動開始時の希望業種と同じ業種に就職した割合が高いのは「教育・学習支援業」(98.5%)、「公務・団体」(89.7%)、「医療・福祉関連業」(88.6%)、「情報通信業」(87.9%)、「電気・ガス・水道業」(86.7%)といった専門性や試験・資格等を要する業種が多く、割合が低いのは「卸売業・小売業」(44.4%)、「サービス業」(61.9%)、「製造業」(68.9%)であった。

◆ 就職先決定時に重視したこと

※ 1人3つまで選択可

【アンケート調査結果】

決定時に重視したこと		36.6%	5.6%	8.3%	37.9%	28.1%	22.1%	5.8%	33.7%	16.5%	9.2%	22.3%	6.9%	2.9%	1.6%	15.6%	6.0%
		企業等の安定性	企業等の成長性	企業等の知名度が高い	給与等が高い、福利厚生が充実している	希望する勤務地である	ワークライフバランスが充実している	柔軟な働き方ができる	自分のやりたい仕事ができる、やりがいがある	自分の能力や専門性を活かせる	社会貢献ができる	地元で働ける	転動がない(少ない)	女性が活躍できる	子育て支援が充実している	職場の雰囲気が良い	人事担当者等の社員の印象が良かった
合計 (n=448)		36.6%	5.6%	8.3%	37.9%	28.1%	22.1%	5.8%	33.7%	16.5%	9.2%	22.3%	6.9%	2.9%	1.6%	15.6%	6.0%
性別	男性 (n=170)	40.6%	10.6%	12.9%	39.4%	31.8%	20.6%	7.1%	33.5%	14.1%	9.4%	17.6%	4.1%	0.0%	0.6%	10.6%	3.5%
	女性 (n=274)	34.7%	2.6%	5.5%	36.9%	25.5%	23.4%	5.1%	33.6%	17.9%	8.8%	① 25.2%	8.8%	4.7%	2.2%	① 18.6%	7.7%
	回答しない (n=4)	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	25.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%
業種	医療・福祉関連業 (n=70)	② 25.7%	1.4%	4.3%	40.0%	30.0%	20.0%	4.3%	41.4%	25.7%	10.0%	20.0%	7.1%	5.7%	1.4%	24.3%	1.4%
	公務・団体 (n=68)	② 45.6%	1.5%	5.9%	32.4%	22.1%	29.4%	2.9%	26.5%	11.8%	25.0%	32.4%	7.4%	1.5%	2.9%	8.8%	0.0%
	教育・学習支援業 (n=66)	25.8%	1.5%	1.5%	22.7%	22.7%	18.2%	6.1%	40.9%	31.8%	3.0%	37.9%	0.0%	3.0%	6.1%	15.2%	7.6%
	製造業 (n=63)	47.6%	9.5%	9.5%	36.5%	30.2%	27.0%	3.2%	28.6%	9.5%	7.9%	15.9%	9.5%	3.2%	0.0%	9.5%	6.3%
	情報通信業 (n=33)	33.3%	12.1%	12.1%	48.5%	33.3%	24.2%	21.2%	39.4%	9.1%	6.1%	9.1%	3.0%	0.0%	0.0%	27.3%	3.0%
	金融業・保険業 (n=31)	41.9%	0.0%	22.6%	45.2%	35.5%	32.3%	3.2%	19.4%	9.7%	6.5%	25.8%	3.2%	0.0%	0.0%	12.9%	9.7%
	サービス業 (n=21)	19.0%	9.5%	4.8%	33.3%	33.3%	19.0%	9.5%	57.1%	23.8%	4.8%	0.0%	14.3%	9.5%	0.0%	9.5%	9.5%
	建設業 (n=20)	45.0%	5.0%	10.0%	50.0%	20.0%	20.0%	10.0%	20.0%	0.0%	5.0%	20.0%	15.0%	0.0%	0.0%	25.0%	10.0%
	その他 (n=76)	40.8%	11.8%	11.8%	46.1%	30.3%	13.2%	3.9%	31.6%	13.2%	5.3%	18.4%	9.2%	2.6%	0.0%	14.5%	11.8%
県内就職検討	県内を主に検討 (n=208)	34.1%	3.4%	7.7%	33.2%	27.9%	21.2%	4.3%	31.3%	21.2%	7.7%	31.3%	9.1%	2.4%	2.4%	11.5%	4.3%
	検討しなかった (n=74)	50.8%	6.6%	9.8%	③ 34.4%	23.0%	24.6%	4.9%	32.8%	11.5%	11.5%	23.0%	6.6%	4.9%	1.6%	16.4%	6.6%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

➤ **「給与等が高いこと、福利厚生が充実していること」が最も多く**（1社以上から内定を得た回答者の**37.9%**）、次いで「企業等の安定性」（36.6%）、「自分のやりたい仕事ができる、やりがいがある」（33.7%）だった。

- ① 男女とも、「給与・福利厚生」、「企業等の安定性」、「やりたい仕事・やりがい」を重視したが、**女性**は「地元で働けること」や「職場の雰囲気」、「人事担当者の印象」など、**仕事・生活の環境面も重視**している。
- ② **就職先の業界により、重視したことが異なり**、例えば、給与・福利厚生は「建設業」、「情報通信業」、「金融業・保険業」でより重視され、ワークライフバランスは「金融業・保険業」、「公務・団体」、「製造業」でより重視された。
- ③ **県内就職を検討しなかった層**は、主に検討した層と比べ、**より給与・福利厚生や勤務地を重視**する傾向があった。

【インタビュー調査で出た意見等】

- **給与よりも福利厚生を重視**する。
- 福利厚生では、**家賃手当、残業手当を重視**する。
- 福利厚生にWLBの要素を読み取る学生もいる。
- **土日祝休みは必須条件**（クラブ活動参加のため、友人と休みを合わせるため）。
- 給与は、**初任給20万円以上を基準**とし、20万円未満は候補から外す。
- **情報通信業希望者**は、**初任給の基準が22～23万円**。月間**残業時間の基準が、20～30時間**。
- **情報通信業希望者**は、**企業の安定性を重視**し、創業年数や会社規模、知名度で安定性を確認する。

◆ 就職活動開始時と就職先決定時に重視したことの比較

【アンケート調査結果】

	A：就職活動開始時に重視したこと（n=470）	B：就職先決定時に重視したこと（n=448）	B-A
企業等の安定性	34.3%	36.6%	2.4%
企業等の成長性	5.7%	5.6%	-0.2%
企業等の知名度が高いこと	7.0%	8.3%	1.2%
給与等が高いこと、福利厚生が充実していること	46.2%	37.9%	① -8.2%
希望する勤務地であること	30.2%	28.1%	-2.1%
残業が少ない・休暇が取得できるなど、ワークライフバランスが充実していること	25.3%	22.1%	-3.2%
柔軟な働き方（テレワーク、時差出勤など）ができること	6.2%	5.8%	-0.4%
自分のやりたい仕事ができること、やりがいがあること	36.0%	33.7%	-2.3%
自分の能力や専門性を活かせること	16.6%	16.5%	-0.1%
社会貢献ができること	9.6%	9.2%	-0.4%
地元で働けること	21.1%	22.3%	1.3%
転勤がない（少ない）こと	7.2%	6.9%	-0.3%
女性が活躍できること	2.3%	2.9%	0.6%
子育て支援が充実していること	2.3%	1.6%	-0.8%
職場の雰囲気が良いこと	18.7%	15.6%	-3.1%
人事担当者等の社員の印象が良かったこと	2.3%	6.0%	① 3.7%

【アンケート調査からわかったこと】

- A：就活開始時、B：就職先決定時のいずれの時点においても、「給与・福利厚生」、「企業等の安定性」、「やりたい仕事・やりがい」を重視した人が多い。
- ① **給与・福利厚生**については、A：就活開始時 に比べて **B：就職先決定時に重視した割合が下がり**ており、就職活動を通して、重視するポイントの変化があったことが推測される。
「人事担当者等の印象が良いこと」は、割合は低いものの、**B：就職先決定時に重視した割合が上が**っており、就職先の決定に一定の影響を与えていると推測される。

【インタビュー調査で出た意見等】

- まずは希望する業界や職種（又は勤務地）を決め、企業等の研究をする。
- 最終的には、インターンシップや企業説明会、面接等で**企業や職員の雰囲気を見て決定**している。
- どのような雰囲気を良いと思うかについて、**明るい、丁寧、正直、熱意**という言葉が出て来た。
- 嫌な雰囲気は、**プライドが高そう、上司と若手のコミュニケーションがない**など。

◆ 就職先決定時に最も参考にした（影響を受けた）人

【アンケート調査結果】

就職先決定時に最も参考にした人		2.0%	8.3%	4.7%	6.5%	8.3%	8.7%	29.5%	8.0%	20.1%	2.2%	1.8%
		キャリア支援団体 (学生運営の就活 サポートサイト) の担当者等	企業の 人事担当者等	企業の先輩 (OB・OG)	大学の先輩	大学等の キャリアセンター の職員	大学等の教員	特にない・ 分からない	友人	両親	両親以外の 家族・親戚	その他
性別	合計 (n=448)	2.0%	8.3%	4.7%	6.5%	8.3%	8.7%	29.5%	8.0%	20.1%	2.2%	1.8%
	男性 (n=170)	3.5%	7.6%	6.5%	4.1%	5.3%	5.3%	34.7%	10.6%	20.0%	1.8%	0.6%
	女性 (n=274)	1.1%	8.4%	3.3%	8.0%	10.2%	10.9%	26.3%	6.6%	20.1%	2.6%	2.6%
大学 所在地	回答しない (n=4)	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%	0.0%	0.0%	25.0%	0.0%	25.0%	0.0%	0.0%
	県内 (n=337)	2.1%	7.4%	4.7%	7.1%	9.2%	8.0%	30.9%	8.3%	18.1%	2.1%	2.1%
	県外 (n=111)	1.8%	10.8%	4.5%	4.5%	5.4%	10.8%	25.2%	7.2%	26.1%	2.7%	0.9%
就職先 の業種	医療・福祉関連業 (n=70)	1.4%	1.4%	0.0%	8.6%	8.6%	22.9%	31.4%	11.4%	10.0%	2.9%	1.4%
	公務・団体 (n=68)	1.5%	5.9%	1.5%	7.4%	5.9%	8.8%	23.5%	8.8%	32.4%	2.9%	1.5%
	教育、学習支援業 (n=66)	0.0%	6.1%	4.5%	9.1%	9.1%	10.6%	33.3%	4.5%	18.2%	3.0%	1.5%
	製造業 (n=63)	3.2%	9.5%	6.3%	3.2%	7.9%	3.2%	34.9%	11.1%	17.5%	3.2%	0.0%
	情報通信業 (n=33)	0.0%	6.1%	12.1%	3.0%	3.0%	3.0%	45.5%	6.1%	15.2%	0.0%	6.1%
	金融業・保険業 (n=31)	0.0%	16.1%	9.7%	6.5%	19.4%	3.2%	12.9%	9.7%	16.1%	3.2%	3.2%
	サービス業 (n=21)	0.0%	19.0%	4.8%	4.8%	4.8%	14.3%	23.8%	9.5%	14.3%	0.0%	4.8%
	建設業 (n=20)	0.0%	15.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	35.0%	15.0%	20.0%	5.0%	0.0%
	卸売業・小売業 (n=18)	11.1%	16.7%	5.6%	0.0%	16.7%	5.6%	16.7%	0.0%	27.8%	0.0%	0.0%
	電気・ガス・水道業 (n=15)	6.7%	13.3%	6.7%	6.7%	6.7%	6.7%	13.3%	6.7%	33.3%	0.0%	0.0%
	その他 (n=43)	4.7%	7.0%	2.3%	11.6%	9.3%	2.3%	32.6%	2.3%	25.6%	0.0%	2.3%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

- 就職先決定時に最も参考にした人は、「特にない・分からない」(29.5%)が最も多かった。
- ① 参考にした人の中で最も多かったのが、「両親」の20.1%であり、その他は全て10%以下だった。
- ② 男性は、女性に比べて「特にない・分からない」の割合が高く(34.7%)、「大学等の教員」、「キャリアセンター職員」、「大学の先輩」の割合が高い。
- ③ 県外大学在学者は、県内大学在学者に比べて、「両親を参考にした割合が高い。
- ④ 就職先の業種別に見ると、「情報通信業」は、「特にない・分からない」の割合が45.5%と高いが、「企業の先輩 (OB・OG)」が12.1%と全業種の中で一番高い。

【インタビュー調査で出た意見等】

- 誰にも影響を受けていない場合が多い。
- 親にも相談するが、先輩や友人の影響の方が大きいという意見があった。
- 行きたい業種があったが、給料が低く、親に反対され、就職先を変更した。
- 大学の先輩の就活をそのまま実行した。
- 彼氏が香川出身で県内で就職をするので、香川で就職したい。
- 姉に内定を受けた企業について相談した。
- ゼミの研究室に先輩が書いたエントリーシートなどがあり、参考にしている。

◆ 県内就職の検討

【アンケート調査結果】

【アンケート調査結果】			46.8%	13.4%	8.7%	14.5%	16.6%
県内就職の検討			県内を主に検討	県内や周辺を主に検討	場所にこだわらず検討	県外を主に検討したが一部県内を検討	検討しなかった
合計 (n=448)			46.8%	13.4%	8.7%	14.5%	16.6%
性別	男性 (n=174)		① 39.7%	16.7%	8.0%	16.7%	19.0%
	女性 (n=292)		51.0%	11.3%	9.2%	13.4%	15.1%
	回答しない (n=4)		50.0%	25.0%	0.0%	0.0%	25.0%
出身地 県内	大学 所在地 県内	勤務地-県内 (n=138)	84.1%	10.9%	4.3%	0.7%	0.0%
		勤務地-県外 (n=34)	17.6%	14.7%	23.5%	23.5%	20.6%
		小計 (n=172)	70.9%	11.6%	8.1%	5.2%	4.1%
	大学 所在地 県外	勤務地-県内 (n=48)	77.1%	14.6%	8.3%	0.0%	0.0%
		勤務地-県外 (n=62)	29.0%	8.1%	6.5%	32.3%	24.2%
		小計 (n=110)	50.0%	10.9%	7.3%	18.2%	13.6%
		小計 (n=282)		② 62.8%	11.3%	7.8%	10.3%
出身地 県外	大学 所在地 県内	勤務地-県内 (n=30)	56.7%	30.0%	6.7%	3.3%	3.3%
		勤務地-県外 (n=135)	10.4%	14.8%	11.1%	25.9%	37.8%
		小計 (n=165)	② 18.8%	17.6%	10.3%	21.8%	② 31.5%
香川県への 愛着	とても感じる (n=204)		③ 61.4%	5.7%	5.7%	11.4%	15.7%
	どちらかというと感じる (n=220)		48.5%	17.6%	7.4%	17.6%	8.8%
	どちらかというと感じない (n=31)		63.6%	10.6%	1.5%	13.6%	10.6%
	ほとんど感じない (n=15)		30.2%	12.7%	22.2%	17.5%	17.5%

合計より10%以上高い
 合計より5%以上高い
 合計より10%以上低い
 合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

➤ 県内企業等への就職を主に検討した学生は、1社以上から内定を得た回答者の**46.8%**であり、検討しなかった学生は**16.6%**だった。

① 男性に比べ、女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高い。

② 県内出身者の62.8%が主に県内企業等への就職を検討し、検討しなかったのは7.8%だった。
県外出身者で県内大学在学者のうち、県内企業等への就職を主に検討したのは**18.8%**であり、検討しなかったのは**31.5%**だった。

③ 香川県への愛着を感じている学生ほど、県内就職を検討している。

◆ 県内就職の検討時に困難に感じたこと

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

県内就職を検討した際に困難だったこと		希望する業種や職種の企業等が少なかった	希望する待遇の企業等が少なかった	企業等の情報が少なかった・入手しづらかった	オンラインでの説明会や面接の機会が少なかった	インターンシップを受け入れている企業が少なかった	交通費の負担が大きかった	スケジュールの調整が難しかった	大学等のサポートが少なかった	特になかった
合計 (n=392)		48.2%	24.5%	18.9%	7.9%	5.1%	13.0%	11.7%	6.9%	24.7%
大学所在地	県内 (n=293)	① 44.0%	25.3%	① 16.0%	6.1%	5.8%	7.8%	9.6%	4.8%	① 29.7%
	県外 (n=99)	60.6%	22.2%	27.3%	13.1%	3.0%	28.3%	18.2%	13.1%	① 10.1%
業種	公務・団体 (n=62)	29.0%	12.9%	17.7%	4.8%	6.5%	17.7%	17.7%	4.8%	② 33.9%
	医療・福祉関連業 (n=59)	49.2%	20.3%	20.3%	10.2%	6.8%	10.2%	8.5%	6.8%	② 28.8%
	教育・学習支援業 (n=59)	16.9%	18.6%	13.6%	0.0%	1.7%	11.9%	10.2%	6.8%	② 47.5%
	製造業 (n=52)	65.4%	32.7%	13.5%	3.8%	0.0%	9.6%	7.7%	3.8%	② 11.5%
	金融業・保険業 (n=27)	② 59.3%	25.9%	18.5%	0.0%	0.0%	14.8%	11.1%	3.7%	22.2%
	情報通信業 (n=22)	77.3%	③ 45.5%	22.7%	13.6%	③ 9.1%	13.6%	13.6%	4.5%	③ 9.1%
	電気・ガス・水道業 (n=15)	73.3%	33.3%	33.3%	20.0%	6.7%	0.0%	13.3%	6.7%	13.3%
	サービス業 (n=15)	66.7%	40.0%	6.7%	20.0%	6.7%	20.0%	6.7%	6.7%	13.3%
	卸売業・小売業 (n=14)	50.0%	42.9%	50.0%	7.1%	0.0%	14.3%	0.0%	14.3%	14.3%
	建設業 (n=14)	50.0%	21.4%	21.4%	21.4%	0.0%	7.1%	7.1%	21.4%	14.3%
その他 (n=53)		56.6%	20.8%	18.9%	13.2%	13.2%	17.0%	18.9%	9.4%	17.0%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

- **県内就職の検討時に困難だったこと**として最も多かったのは、「**希望する業種や職種の企業等が少なかった**」で県内企業等を検討した回答者の**48.2%**、次いで「希望する待遇の企業等が少なかった」(24.5%)、「企業等の情報が少なかった・入手しづらかった」(18.9%)だった。
- ① 大学所在地別では、**県内大学在学生の「希望する業種や職種の企業等が少なかった」(44.0%)、「企業等の情報が少なかった」(16.0%)**に対し、**県外大学在学生はそれぞれ60.6%、27.3%**と高い。また、「**特になかった**」と回答したのは、**県内大学在学生は29.7%**に対し、**県外大学在学生が10.1%**だった。
- ② 就職先の業種別では、特に**情報通信業、電気・ガス・水道業、サービス業、製造業等**において、「**希望する業種や職種の企業等が少なかった**」と回答した割合が高く、**公務・団体、教育・学習支援業**においては、「**特になかった**」と回答した割合が高かった。
- ③ **情報通信業は、「希望する業種や職種の企業が少ない」、「希望する待遇の企業が少ない」、「インターンシップの受入が少ない」とした回答の割合が最も高く、「特になかった」と回答した割合が最も低かった。**

【インタビュー調査で出た意見等】

- 志望する業界（教育・学習支援業）の**県内企業を知らない**。
- **香川県には、就職したいと思える情報通信業の企業がない**。
- **県内の情報通信業では、規模が小さく、例えば自動車業界専門のシステム作成など、顧客が限られている**。
(色々な業種の顧客がいると、その分経験となり、自己の成長につながりやすい)

◆ 県内就職/県外就職を決めた理由

【アンケート調査結果】

	A：県内就職を決めた理由 (n=228)	B：県外就職を決めた理由 (n=241)	A-B
希望する業種や職種の企業等があったから	24.6%	51.9%	① -27.3%
香川県内の企業等の情報が多かったから/少なかったから	2.2%	9.1%	-6.9%
自分に合ったライフスタイルで働くことができるから	22.4%	16.2%	6.2%
香川県内/県外での就職活動が上手くいかなかった（困難だった）から	3.1%	4.6%	-1.5%
通勤が楽だから、交通アクセスが便利だから	13.6%	16.2%	-2.6%
香川県内/県外での生活に慣れ親しんでいるから	47.8%	14.9%	① 32.9%
両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから	38.2%	25.3%	① 12.9%
経済的に楽だから	13.6%	7.1%	6.5%
自然が豊かだから	3.9%	1.2%	2.7%
生活環境が整っているから	12.3%	16.2%	-3.9%
奨学金の返還免除など金銭面での援助があるから	6.6%	1.2%	5.4%
香川県が好きだから/好きではないから	23.2%	2.1%	① 21.1%
都会と田舎のバランスがちょうどいいから/田舎で生活したくないから・都会で生活したいから	9.2%	13.3%	-4.1%

※1人3つまで選択可

【アンケート調査からわかったこと】

- **A:県内就職を決めた理由**として最も多かったのは、「香川県内での生活に慣れ親しんでいるから」で県内企業等に就職する回答者の**47.8%**、次いで「両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから」の38.2%だった。
- **B:県外就職を決めた理由**として最も多かったのは、「希望する業種や職種の企業等があったから」で県外企業等に就職する回答者の**51.9%**だった。
- ① **県内就職を決めた理由と県外就職を決めた理由の割合の差**で最も大きかったのは、「香川県内/県外での生活に慣れ親しんでいるから」（県内**47.8%**県外**14.9%**）で、次いで「希望する業種や職種の企業等があったから」（県内24.6%県外51.9%）、「香川県が好きだから/好きではないから」（県内23.2%県外2.1%）、「両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから」（県内38.2%県外25.3%）の差が大きかった。

◆ 県内就職/県外就職を決めた理由

【アンケート調査結果】

県内就職を決めた理由		24.6%	2.2%	22.4%	3.1%	13.6%	47.8%	38.2%	13.6%	3.9%	12.3%	6.6%	23.2%	9.2%
		希望する業種や職種の企業等があったから	香川県内の企業等の情報が多かったから	自分に合ったライフスタイルで働くことが出来るから	香川県外での就職活動が上手くいかなかった(困難だった)から	通勤が楽だから、交通アクセスが便利だから	香川県内での生活に慣れ親しんでいるから	両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから	経済的に楽だから	自然が豊かだから	生活環境が整っているから	奨学金の返還免除など金銭面で援助があるから	香川県が好きだから	都会と田舎のバランスがちょうどいいから
合計 (n=228)		24.6%	2.2%	22.4%	3.1%	13.6%	47.8%	38.2%	13.6%	3.9%	12.3%	6.6%	23.2%	9.2%
県内就職の検討	県内を主に検討 (n=182)	21.4%	1.1%	23.6%	1.1%	13.7%	50.0%	37.4%	14.3%	3.8%	11.5%	7.7%	26.4%	8.8%
	県内や周辺を主に検討 (n=31)	29.0%	3.2%	19.4%	9.7%	9.7%	48.4%	48.4%	9.7%	6.5%	16.1%	0.0%	12.9%	16.1%
	場所にこだわらず検討 (n=12)	58.3%	16.7%	8.3%	8.3%	16.7%	16.7%	25.0%	16.7%	0.0%	16.7%	8.3%	8.3%	0.0%
	県外を主に検討したが一部県内を検討 (n=3)	33.3%	0.0%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

※ 1人3つまで選択可

県外就職を決めた理由		51.9%	9.1%	16.2%	4.6%	16.2%	14.9%	25.3%	7.1%	1.2%	16.2%	1.2%	2.1%	13.3%
		希望する業種や職種の企業等があったから	香川県内の企業等の情報が少なかったから	自分に合ったライフスタイルで働くことが出来るから	香川県内での就職活動が上手くいかなかった(困難だった)から	通勤が楽だから、交通アクセスが便利だから	香川県外での生活に慣れ親しんでいるから	両親や友人等の近くで生活したいから・両親や友人等が希望していたから	経済的に楽だから	自然が豊かだから	生活環境が整っているから	奨学金の返還免除など金銭面で援助があるから	香川県が好きではないから	田舎で生活したくないから・都会で生活したいから
合計 (n=241)		51.9%	9.1%	16.2%	4.6%	16.2%	14.9%	25.3%	7.1%	1.2%	16.2%	1.2%	2.1%	13.3%
県内就職の検討	県内を主に検討 (n=38)	55.3%	18.4%	13.2%	13.2%	18.4%	5.3%	18.4%	7.9%	0.0%	10.5%	2.6%	0.0%	2.6%
	県内や周辺を主に検討 (n=32)	62.5%	12.5%	15.6%	3.1%	21.9%	18.8%	28.1%	9.4%	3.1%	12.5%	3.1%	0.0%	6.3%
	場所にこだわらず検討 (n=29)	79.3%	3.4%	13.8%	3.4%	6.9%	6.9%	17.2%	0.0%	0.0%	6.9%	0.0%	0.0%	6.9%
	県外を主に検討したが一部県内を検討 (n=65)	55.4%	3.1%	27.7%	6.2%	18.5%	15.4%	32.3%	10.8%	1.5%	21.5%	0.0%	3.1%	12.3%
	検討しなかった (n=77)	32.5%	10.4%	9.1%	0.0%	14.3%	20.8%	24.7%	5.2%	1.3%	19.5%	1.3%	3.9%	24.7%

※ 1人3つまで選択可

【アンケート調査からわかったこと】

- ① 県内及び周辺を主に検討していた学生は、生活面の理由を選び、場所にこだわらずに検討をした学生は、仕事面の理由を選ぶ傾向にある。
- ② 主に県内企業への就職を検討していたが、県外企業への就職を決めた理由として最も多かったのは、「希望する業種や職種の企業等があったから」だった。

【インタビュー調査で出た意見等】

県内就職を決めた理由として、地元にいたい、実家で貯金をしたい、友人が多い、他県に行く理由がない、といった意見があった。

◆ 香川県での就職希望者を増やす取組み

【アンケート調査結果】

※ 1人3つまで選択可

県内就職を増やすための取組み			30.8%	17.0%	9.2%	35.7%	22.3%	44.9%	8.7%	7.4%	10.5%	16.7%	12.3%	18.8%
			小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やす	県等が県内企業の情報発信を充実させる	県等が合同説明会や就職セミナーを頻繁に開催する	県等が魅力的な企業を誘致する	県等が奨学金の返済支援などの援助を充実させる	県内企業が給与等を増やす	県内企業がウェブサイトやSNSを活用して情報発信に努める	県内企業がオンライン説明会・オンライン面接などを導入する	県内企業がインターンシップの機会を増やす	県内企業がリモートワークや時差出勤など柔軟な働き方を取り入れる	県内企業が育児・介護休暇等を取りやすい職場づくりに努める	県内企業がUターン採用枠を設けるなど地元出身者の確保に努める
合計 (n=448)			30.8%	17.0%	9.2%	35.7%	22.3%	44.9%	8.7%	7.4%	10.5%	16.7%	12.3%	18.8%
出身地 県内	大学 所在地 県内	勤務地-県内 (n=138)	38.4%	11.6%	8.0%	34.8%	20.3%	53.6%	8.0%	3.6%	10.9%	15.9%	18.8%	10.1%
		勤務地-県外 (n=34)	① 35.3%	20.6%	11.8%	38.2%	14.7%	② 52.9%	11.8%	8.8%	8.8%	17.6%	5.9%	11.8%
		小計 (n=172)	37.8%	13.4%	8.7%	35.5%	19.2%	53.5%	8.7%	4.7%	10.5%	16.3%	16.3%	10.5%
	大学 所在地 県外	勤務地-県内 (n=48)	39.6%	27.1%	10.4%	33.3%	20.8%	31.3%	18.8%	10.4%	14.6%	10.4%	10.4%	37.5%
		勤務地-県外 (n=62)	25.8%	22.6%	11.3%	43.5%	25.8%	40.3%	4.8%	12.9%	6.5%	22.6%	9.7%	29.0%
		小計 (n=110)	31.8%	24.5%	10.9%	39.1%	23.6%	36.4%	10.9%	11.8%	10.0%	17.3%	10.0%	32.7%
	小計 (n=282)		35.5%	17.7%	9.6%	36.9%	20.9%	46.8%	9.6%	7.4%	10.3%	16.7%	13.8%	19.1%
出身地 県外	大学 所在地 県内	勤務地-県内 (n=30)	16.7%	16.7%	6.7%	30.0%	33.3%	40.0%	13.3%	6.7%	13.3%	10.0%	6.7%	16.7%
		勤務地-県外 (n=135)	24.4%	14.8%	8.9%	34.8%	23.0%	42.2%	5.9%	7.4%	9.6%	17.8%	10.4%	18.5%
		小計 (n=165)	23.0%	15.2%	8.5%	33.9%	24.8%	41.8%	7.3%	7.3%	10.3%	16.4%	9.7%	18.2%

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

【アンケート調査からわかったこと】

- 県内就職を希望する学生を増やすための取組みとして、**最も多かった回答は、「県内企業等が給与等を増やす」で全体の44.9%、次いで「県等が魅力的な企業を誘致する」(35.7%)、「小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やす」(30.8%)**だった。

- ① **県内出身学生**は、県外出身学生に比べて、**小学校～高校の段階で、県内企業を知る機会を増やすべき**と考えている学生が多い。
- ② **県内出身で県内大学に在籍する学生**は、勤務地を問わず、県外大学在学学生及び県外出身者に比べ、**県内企業が給与等を増やすべき**と考えている。

【インタビュー調査で出て来た意見等】

- **香川県に支店を持つ企業**が増えればよい。
- **きれいなオフィス**のある企業が増えてほしい。
- **小学校～高校までの体験で志望業界が決まった人が多い。**
 - 地元の特産品である花を修学旅行時に大阪で販売し、喜んでもらえた→地元貢献したい→公務員志望
 - 商業高校時に地元企業と共同で商品開発等をした→食品メーカーで商品開発をしたい
 - 高校の時のプログラミングの授業が面白かった→システムエンジニア志望

◆ 就職時期の県外転出の主な原因

※ 1人3つまで選択可

【アンケート調査結果】

県外転出の主な原因		10.0%	30.2%	44.5%	6.0%	54.0%	12.3%	11.7%	43.2%	11.9%	3.4%
		安心して結婚や育児ができる環境が整っていないから	他県に比べて魅力が少ないから	給与水準が低いから	働き方など労働環境が良くないから	働きたいと思える企業や仕事が少ないから	企業や仕事の情報が少ないから	生活が不便であるから	若者が楽しめる場所や活躍できる場が少ないから	自分らしさを表現しづらい・古い価値観が残っていると思うから	分らない
合計 (n=470)		10.0%	30.2%	44.5%	6.0%	54.0%	12.3%	11.7%	43.2%	11.9%	3.4%
性別	男性 (n=174)	① 7.5%	29.3%	50.6%	8.6%	55.7%	14.4%	10.3%	① 39.7%	9.2%	3.4%
	女性 (n=292)	11.3%	30.5%	41.1%	4.5%	53.1%	11.3%	12.0%	45.2%	13.0%	3.4%
	回答しない (n=4)	25.0%	50.0%	25.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
県内 出身地域	高松圏域 (n=159)	11.9%	26.4%	48.4%	2.5%	61.0%	13.8%	6.9%	47.2%	14.5%	3.8%
	中讃圏域 (n=75)	6.7%	37.3%	40.0%	6.7%	49.3%	14.7%	13.3%	53.3%	16.0%	2.7%
	西讃圏域 (n=36)	5.6%	33.3%	41.7%	5.6%	63.9%	11.1%	8.3%	52.8%	13.9%	0.0%
	東讃圏域 (n=25)	20.0%	20.0%	48.0%	8.0%	44.0%	16.0%	8.0%	44.0%	8.0%	12.0%
出身地 県内	県への愛着-とても感じる (n=164)	10.4%	23.2%	42.1%	6.1%	② 56.1%	18.9%	5.5%	47.6%	13.4%	4.9%
	どちらかというと感じる (n=116)	9.5%	34.5%	50.9%	2.6%	② 61.2%	7.8%	12.1%	50.0%	14.7%	2.6%
	どちらかというと感じない (n=12)	8.3%	③ 58.3%	41.7%	0.0%	41.7%	8.3%	16.7%	58.3%	8.3%	0.0%
	ほとんど感じない (n=5)	40.0%	③ 60.0%	40.0%	0.0%	40.0%	0.0%	20.0%	60.0%	40.0%	0.0%
	小計 (n=297)	10.4%	29.6%	45.5%	4.4%	57.2%	13.8%	8.8%	49.2%	14.1%	3.7%
出身地 県外	県への愛着-とても感じる (n=40)	2.5%	20.0%	32.5%	5.0%	② 62.5%	7.5%	12.5%	27.5%	5.0%	2.5%
	どちらかというと感じる (n=104)	9.6%	30.8%	44.2%	8.7%	② 45.2%	11.5%	16.3%	36.5%	10.6%	3.8%
	どちらかというと感じない (n=19)	10.5%	③ 52.6%	52.6%	10.5%	47.4%	5.3%	31.6%	42.1%	0.0%	0.0%
	ほとんど感じない (n=10)	30.0%	③ 40.0%	50.0%	20.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	10.0%	0.0%
	小計 (n=173)	9.2%	31.2%	42.8%	8.7%	48.6%	9.8%	16.8%	32.9%	8.1%	2.9%

【アンケート調査からわかったこと】

合計より10%以上高い

合計より5%以上高い

合計より10%以上低い

合計より5%以上低い

- 就職時期の年齢での県外転出が大きい原因として、最も多かった意見は「働きたいと思える企業や仕事が少ないから」で全体の54.0%、次いで「給与水準が低いから」の44.5%、「若者が楽しめる場所や活躍できる場が少ないから」の43.2%だった。

① 男性、女性ともに職種や仕事の条件面を原因に挙げているが、女性は「若者が楽しめる場所や活躍できる場所が少ないから」や「安心して結婚や育児ができる環境が整っていないから」、「自分らしさを表現しづらい・古い価値観が残っていると思うから」などで男性より割合が高くなっている。

② 香川県への愛着があると感じる学生は、感じないと答えた学生に比べて、「働きたいと思える企業や仕事が少ない」、「企業や仕事の情報が少ないこと」を転出の原因と考えている割合が高い。

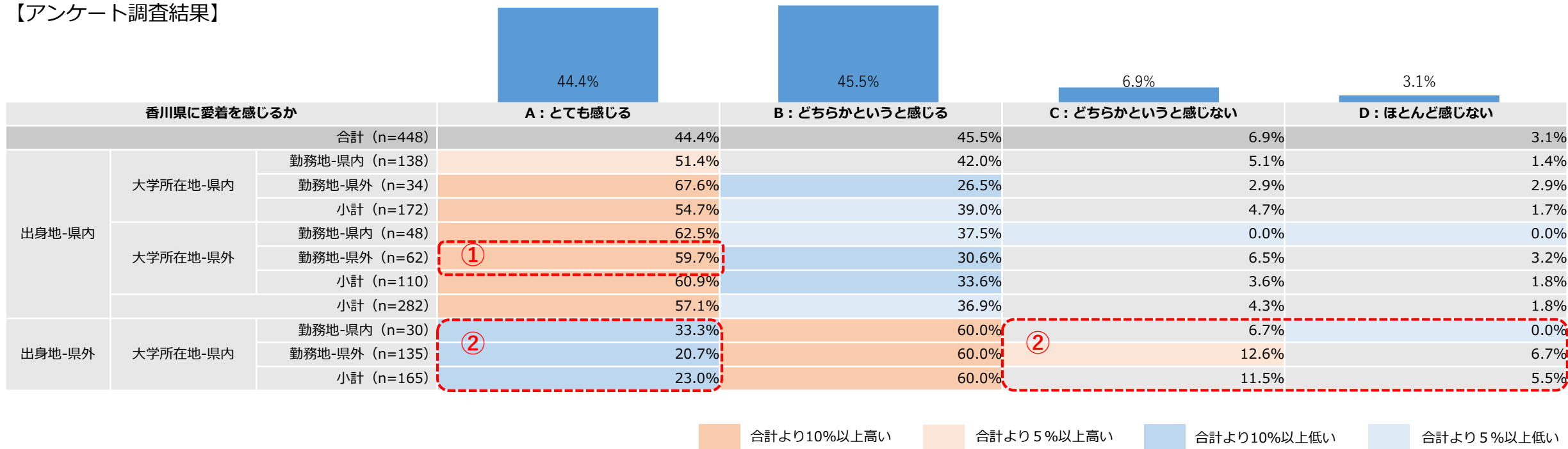
③ 香川県への愛着を感じていない学生は、他県に比べて魅力が少なく感じ、それが転出の原因と考えている割合が高い。

【インタビュー調査で出て来た意見等】

- その地域に住むメリット（具体的な数字等で表現可能なもの）がなければ住まない。
- 香川県は楽しめる場所（ショッピング、飲食店）が少なく、すぐに飽きてしまう。
- 車のマナーが悪くて住みたくない。

◆ 香川県への愛着

【アンケート調査結果】



【アンケート調査からわかったこと】

➤ 香川県への愛着を「A : とても感じる」と回答したのは全体の44.4%、「B : どちらかというと感じる」は45.5%で、**90.0%が香川県への愛着を感じている。**

① **県内出身者は県外大学に進学し県外企業に就職しても、愛着を「A : とても感じる」と回答した層が多い (59.7%)。**

② **県外出身者は「A : とても感じる」と回答した割合が23.0%と低く、愛着を感じない層 (C・D) も17.0%と、県内出身者の6.7%と比べて多くなっている。**

【インタビュー調査で出て来た意見等】

➤ **大学入学当初からのコロナ禍もあり、県外から来ても香川のことをよく知ることができず、あまり愛着がない。**

➤ 車を持っておらず、公共交通機関のみでの移動も不便なため、観光地等にも行っていない。

➤ **愛着はあるが、地元の方が愛着が強い。**

◆ 出身地-大学所在地-就職先の勤務地別の人数分布

カテゴリ	出身地	大学	就職	人数	カテゴリ内割合
A	県内	県内	県内	138	① 80.2%
	県内	県内	県外	34	19.8%
B	県内	県外	県内	48	43.6%
	県内	県外	県外	62	② 56.4%
C	県外	県内	県内	30	18.1%
	県外	県内	県外	135	③ 81.9%
D	県外	県外	県内	調査対象外	
	県外	県外	県外	調査対象外	

- ① 県内出身で県内大学に進学した学生のうち、80.2%はそのまま県内で就職をしており、19.8%が県外で就職をしている。
- ② 県内出身で県外大学に進学した学生のうち、56.4%はそのまま県外で就職をしている（次貢）。
- ③ 県外出身で県内大学に進学した学生のうち、81.9%は県外で就職をしている。

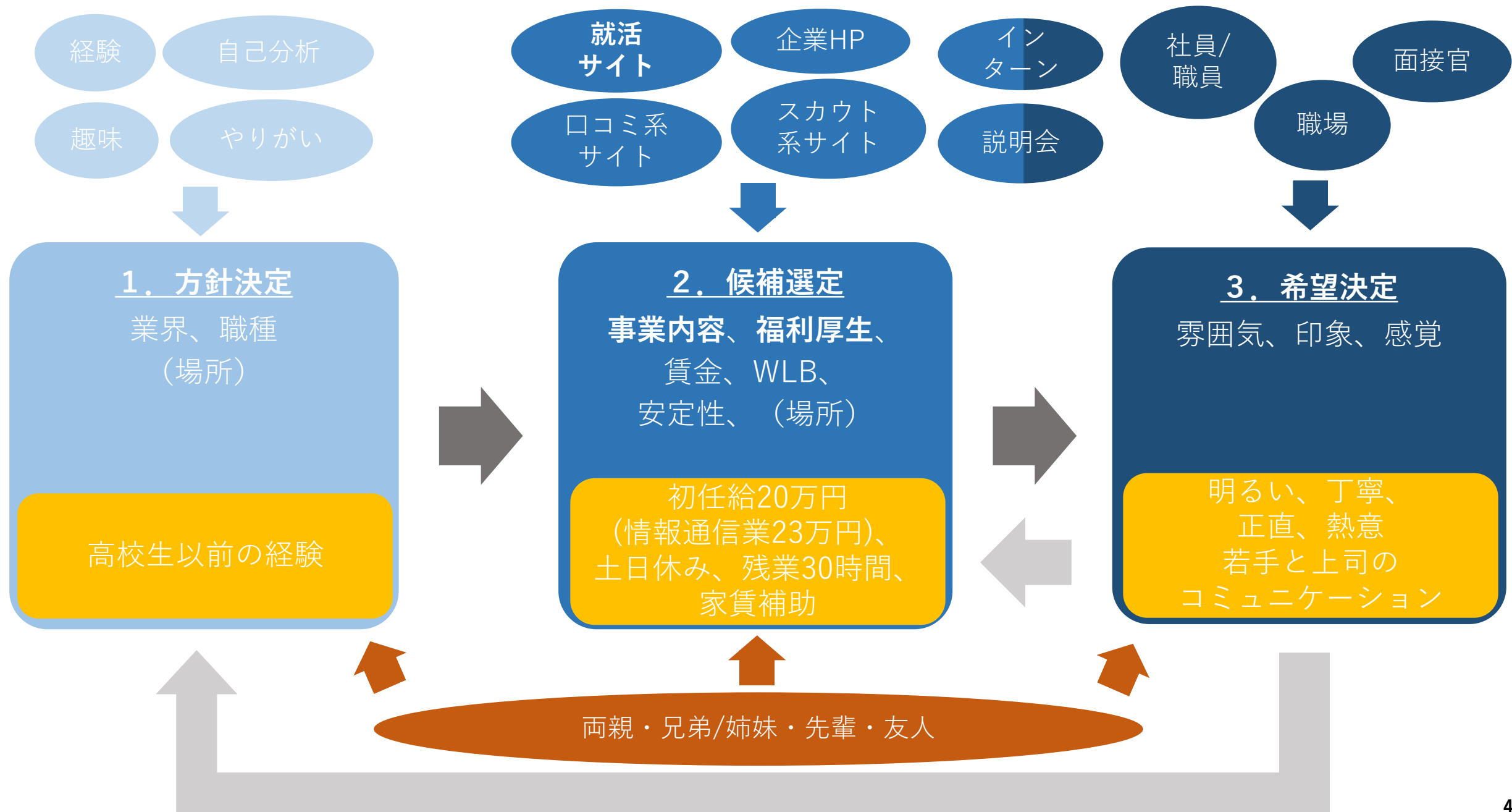
→ 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、
大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に戻っている現状であり、対策が求められる。

アンケート調査結果のまとめ

- 大学進学で県外に出た学生は、半数以上が就職で県内に戻らず、大学進学で県内に来た学生は、大半が就職で県外に戻っている。
- 給与・福利厚生が、就職活動開始時と就職先決定時のどちらにおいても最も重視されており、特に県外企業等に就職した学生や業界別では情報通信業、金融業・保険業に就職する学生において、その傾向が強い。また、回答者は、県内就職者を増やすために、県内企業等が給与を増やすべきと考えている。
- 県外就職を決めた理由として、希望する業種や職種の企業等があったことが最も多く、県内就職検討時に困難だったこととして、希望する業種や職種の企業が少なかったことが最も多い回答であった。業界別では、情報通信業、サービス業、製造業でその傾向が強い。さらに、回答者は、就職時期の県外転出が多い主な原因が、県内に働きたいと思える企業や仕事が少ないからと考えている。
- 男性はより給与や企業の安定性、知名度など、仕事の条件やステータスを重視する傾向があり、女性は仕事の条件に加え、地元で働けることや職場の雰囲気、ワークライフバランスなど、仕事・生活の環境も重視する傾向がある。
- 女性の方が県内企業等への就職を検討した割合が高く、実際に県内企業等への就職をした割合も高い。
- 就職先決定時に参考にした人の中で、両親が最も多い。
- 県内出身者は、大学や就職で県外に出ても、香川県への愛着を感じている。

インタビュー調査結果のまとめ

- 給与と福利厚生では、福利厚生を重視する傾向にあり、特に家賃補助、残業手当は必須と考える学生が多い。
- 給与では、初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。
- 情報通信業は、初任給22～23万円が基準であることが多い。
- 公務員志望者は、給与の基準を設けていない。
- 希望する業種や職種を決めてから、企業等を探す場合が多い。
- 希望する業種や職種の県内企業を知らない学生が多い。
- 県内の情報通信業は、規模が小さく、顧客が限定されることで就職先の候補から外れる。
- 県の就職サイトの利用者がいない。
- 一部の女性からは、「女性が表に立つ企業であることに共感」「将来、子育てがしやすい場所に住みたい」等の環境面を重視する声がある。
- 職場の雰囲気は、男女問わず、就職先決定時に重視するポイントとなっている。
- ケースとしては少ないが、両親等の影響によって、業種や勤務地が学生本人の希望から変わる場合がある。
- 県外出身者が大学在籍中に香川をよく知る機会に恵まれず、愛着を持ってないまま県外に帰っていくケースがある。



■ 第1回WGで出た意見等

(小学生～高校生へのアプローチについて)

- 直接就職に繋がらなくても、企業を知ってもらう機会（中小企業家同友会のインタビューシップ等）が重要だ。
【学】
- 個別の学校に打診しても、時間枠が決まっているなどの理由で連携が進まないのので、教育委員会と協力して小～高の総合的な学習（探究）の時間を活用してキャリア教育を進めたらどうか。【産・学】

(県外出身学生の香川県への愛着が少ないことについて)

- 県に愛着があるからといって県内で就職するわけではないが、愛着のあい場所で就職することは考えにくく、愛着はその場所に就職する前提条件と考える。【官】
- コロナ禍により、外出や交流の機会が少なかったのが影響しているのではないか。【学】
- 香川大学では地域学をかなりの量で実施している。今後は質をより高めていきたい。【学】

(初任給の基準について)

- 会社の規模によるが、初任給を18万円とする企業等も多い。【産】
- 短大生は16～18万円を基準とし、初任給の他に福利厚生を重視する傾向がある。【学】

■ 第1回WGで出た意見等

(大手就職サイトについて)

- 就活学生の目に触れる頻度が高い大手就職サイトの登録料は、内容にもよるが、300万円ほどかかる場合もある。【産】

(大学でのキャリア支援について)

- 大学のキャリア支援は個別対応で手厚い。【学】
- 香川大学では予約枠があり、基本的に満席の状況。一方、予約が必要なために利用しないという声もある。【学】

(ワクサポかがわ等大手就職サイトに代わる採用プラットフォームについて)

- 県内企業への就職促進という面では、ワクサポかがわの認知度を上げるべきではないか。【学】
- 大手就職サイトからワクサポかがわに軸足を移していく仕掛けを考えられないか。【学】
- 学生の意見を取り入れつつワクサポかがわの機能改善をするのはどうか。一方、ワクサポかがわはマッチング支援をメインとしていると思われるので、それぞれの役割の整理が必要だ。【官】
- ワクサポかがわと大学の就職サイト等の役割分担を明確にすべきではないか。【産】

(より調査が必要だと思われるところ)

- 出身高校の科目（普通科or専門学科）で傾向が異なるのではないか。【学】
- 新卒3年以内で退職する人が全体の約3割いる中で、ファーストキャリアとして何を求めているのかの調査も必要ではないか。【産】
 - 中小企業では仕事を任せてもらえるという理由で中小企業に就職する学生がいる。【学】
 - 何を求めているかが分かれば、企業側の採用戦略に活かせる可能性がある。【官】

(情報発信における連携やタイミングについて)

- 香川大学経済学部なら、ゼミ連合会が3年生向けに4月になるとリクナビとマイナビの登録をするよう促す。この際にワクサポかがわ等の登録を同時にしてもらうようにするとよい。香川短期大学では、**1年生を対象に9月**にそのような機会がある。【学】
- インターンシップを検討するタイミングでのワクサポかがわ等の案内も効果的ではないか。【学】

(就職活動の時期について)

- 4年生の10月までに内定を複数獲得する人もいる一方で、10月以降に内定を受ける人もいる。【学】

(学生の傾向)

- 就職先を早めに決めたいという意向があるようだ。【学】
- 移住セミナー参加者のうち学生が初めて2割を超えた。【産】

(企業の人材確保に関する考え方)

- これからもっと人口が減る中、危機感の醸成が大事。【産】
- 学生の新規採用を諦め、中途採用ねらいとしている中小企業も多い。【産】
- 県内企業は採用活動が遅い。また、採用の意思決定が遅いと言われている。【学】

(小豆島での企業の採用活動について)

- 島内で大手就職サイトに掲載している企業はごく一握りで、ハローワークの力が大きい。【官】
- 第2新卒に注力している。【官】

(ターゲット選定について)

- より個別にターゲットを定め、対応を考える方が良い。例えば香川大学なら、経済学部と創造工学部になるだろう(法学部は7割が公務員志望)。【学】

1. 小学生～高校生に対する取組み

調査結果	WGでの意見等	議論のポイント
■アンケート調査 香川県での就職希望者を増やす取組みでどのようなことをすべきか？ →小学校～高校の段階で県内企業を知る機会を増やす30.8% ■インタビュー調査 小学校～高校までの体験で志望業界が決まった人が多い。	・ 直接就職に繋がらなくても、企業を知ってもらう機会（中小企業家同友会のインタビューシップ等）が重要だ。【学】 ・ 個別の学校に打診しても、時間枠が決まっているなどの理由で連携が進まないの、教育委員会と協力して小～高の総合的な学習（探究）の時間を活用してキャリア教育を進めたらどうか。【産・学】	直接的な就職に繋がるものではないが、小学生～高校生に対する県内企業を知ってもらうための長期的視点に立った機会の創出が必要ではないか。 より多くの学生や保護者への訴求を図るためには、将来的には教育委員会の協力が不可欠ではないか。 アイデアソン ・ 卒業式や成人式等で大学や企業の紹介

2. 県外出身の県内大学生に対する香川県への愛着を持ってもらう取組み

調査結果	WGでの意見等	議論のポイント
■アンケート調査 県外出身者は県内出身者と比べ香川県への愛着を持っていない ■インタビュー調査 県外から来ても香川のことをよく知ることができず、あまり愛着がない	・ 県に愛着があるからといって、県内で就職するわけではないが、愛着のない場所で就職することはなく、愛着はその場所に就職する前提条件と考える。【官】 ・ コロナの影響が大きいのではないかと。【学】 ・ 香川大学は「地域学」を実施しており、今後質をより高めたい。【学】	上記1同様に短期的に効果が出るものではなく、実現可能なことをじっくりと進めていくことが必要ではないか。 アイデアソン ・ 若者の香川ファンを作る ・ 地域資源PR

3. 学生が持つ初任給等の基準について

調査結果	WGでの意見等	議論のポイント
■アンケート調査 就活開始時と就職先決定時において重視したこととして、給与等が高いこと・福利厚生が充実していることが最も多い回答 ■インタビュー調査 ・家賃補助、残業手当は必須の学生が多い。 ・初任給20万円以上という基準を持っている学生が多い。 ・情報通信業は、初任給22～23万円、残業時間の基準が、20～30時間。 ・平均年収とその年齢を確認する学生もいる。	・会社の規模によるが、初任給を18万円とする企業等も多い。【産】 ・短大生は16～18万円を基準とし、初任給の他に福利厚生を重視する傾向がある。【学】 ・県内の初任給18万円の企業と都内の初任給20万円の企業では、（福利厚生や補助にもよるが）県内の18万円の企業の方が余裕があるのではないか。【官】	・県内企業が人材を確保する上で、初任給や給与等の引上げ、福利厚生の充実に向けて具体的な取組みが可能か。 ・大学等の種別や希望業種により、初任給等の基準は異なる。 ・学生が、企業の採用条件に加え、福利厚生や居住圏の物価等を含めた経済面、生活面を考慮して就職先を選定するよう伝えることが必要ではないか。

4. 職員や職場の印象が与える就職先選定への影響について

調査結果	WGでの意見等	議論のポイント
■アンケート調査 就活開始時に比べ、就職先決定時に「人事担当者等の印象が良いこと」を重視すると回答した割合が高い。 ■インタビュー 職場の雰囲気は、就職先決定時に重視するポイントとなっている。明るい、丁寧、正直、熱意、若手と上司のコミュニケーションがキーワード。	特になし。	人事担当者の印象向上を含む職場全体の雰囲気づくりは、学生が就職希望先を選ぶうえで重要な点であるので、イメージアップ研修など、企業等が雰囲気づくりの重要性を認識するような取組みが必要ではないか。

5. 就活に関する情報サイトや窓口対応について

調査結果	WGでの意見等	議論のポイント
■ アンケート調査 就職活動の情報収集で役に立ったもの → 大手就職サイト 56.4% 学内キャリアセンター 20.4% 県就職サイト 11.9% ■ インタビュー調査 ・ 大手就職サイト利用（公務員志望者除く） ・ 県内企業も大手就職サイトで情報収集 ・ 香川県の就職サイトは認知されていない	・ 大手就職サイトの登録料は、内容にもよるが、300万円ほどかかる場合もある。【産】 ・ 小豆島で大手就職サイト掲載企業は一握りで、ハローワークの力が大きい。【官】 ・ 学生の意見を取り入れつつ機能改善するのはどうか。一方、ワクサポかがわとしてはマッチング支援をメインとしていると思われるので、役割の整理が必要だ。【官】 ・ 県内企業への就職促進という面では、ワクサポかがわの認知度を上げるべきではないか。【学】 ・ ワクサポかがわと大学の就職サイト等の役割分担を明確にすべきではないか。【産】 ・ 大学のキャリア支援は個別対応で手厚い。【学】 ・ 香川大学では予約枠があり、基本的に満席の状況。一方、予約が必要なために利用しないという声もある。【学】	・ 大手就職サイトを利用する学生が多く、大手就職サイトを活用した県内企業の魅力PRが効果的であると思われる一方、登録料の高さから、採用人数が少ない企業等にとっては登録のハードルは高い。 ・ 大手就職サイト以外は、アンケートで役に立ったと回答した学生の割合や認知度に課題を抱える。 ・ まずはそれぞれの機能や役割の共有が必要ではないか。 アイデアソン ・ 中小企業の魅力発信/マッチング

6. 更なる調査ポイントについて

調査結果	WGでの意見等	議論のポイント
	新卒3年以内で退職する人が全体の約3割いる中で、ファーストキャリアとして何を求めているのかの調査も必要ではないか。【産】	就活生と採用側（企業）のそれぞれが求めるものにギャップがあり、企業のニーズ等がさらなる調査ポイントとして挙げられるのではないか。

企業の採用担当者が教える 「はじめての就職活動」



株式会社レクザム 総務部 鎌田佳子

「香川県」ってどんなところ？①

私たちは、香川県のことをどれくらい知っているのでしょうか。

面積	全国	位 (1876.92km ²)
人口	全国	位 (942,224人)
大型小売店数	全国	位 (人口10万人あたり8.9店)
預貯金残高	全国	位 (1世帯あたり1千770万9千円)
道路舗装率	全国	位 (99.9%)
図書館館外貸出点数	全国	位 (人口100人あたり572点)
有効求人倍率	全国	位 (1.42倍)
地域子育て支援拠点設置箇所数	全国	位 (乳幼児千人あたり2.85カ所)
救急病院数	全国	位 (人口10万人あたり5.2施設)
都市公園等面積	全国	位 (都市計画区域内等人口1人あたり18.29m ²)



出典：100の指標からみた香川（香川県Webサイト）

「香川県」ってどんなところ？②

- ①街や自然、アートにあふれる！コンパクトシティ
- ②温暖で快適、災害が少ない好環境
- ③新鮮食材&広々住まい ゆとりのある暮らし
- ④子育てと医療もしっかりサポート
- ⑤ビジネスとカルチャーの交流点

出典：かがわ移住ポータルサイト かがわ暮らし



働き、暮らす上で、魅力がいっぱい！

「働く」とは？①

全国の16～29歳の男女を対象に調査した「子供・若者白書」によると…

仕事をする目的

- ①収入を得るため
- ②仕事を通して達成感や生きがいを得るため
- ③自分の能力を発揮するため
- ④働くのがあたり前だから
- ⑤人の役に立つため



出典：平成30年版 子供・若者白書（内閣府Webサイト）

「働く」とは？②

全国の16～29歳の男女を対象に調査した「子供・若者白書」によると…

仕事を選択する際に重要視する観点

- ① 安定して長く続けられること
- ② 収入が多いこと
- ③ 自宅から通えること
- ④ 自分のやりたいことができること
- ⑤ 福利厚生が充実していること



出典：平成30年版 子供・若者白書（内閣府Webサイト）

業界研究・企業研究とは？①

まずは「仕事をする目的」と「選び方」を考えよう

仕事をする目的

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____
- ⑤ _____

仕事を選択する際に重要視する観点

- ① _____
- ② _____
- ③ _____
- ④ _____
- ⑤ _____

業界研究・企業研究とは？②

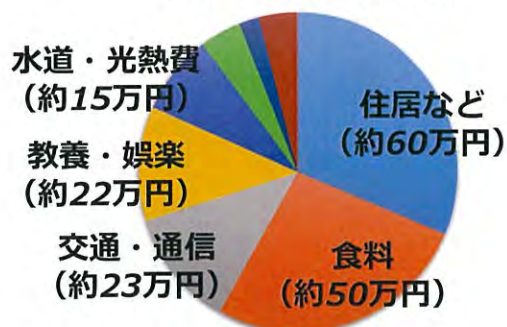
次に「目的」と「選び方」を深掘りしてみよう

例1) 仕事をする目的：収入を得るため

⇒生活費はいくら？収入はどれくらい必要？

単身世帯の**消費**支出
(年間約194万円)

いわゆる生活費。日常生活を営むのに必要な商品やサービスを購入して支払った金額



出典：総務省 家計調査（2022年）

税金、社会保険料などの
非消費支出も必要

仕事以外のやりたいこともかなえるには…



業界研究・企業研究とは？③

例2) 仕事をする目的：達成感・生きがい・能力の発揮…

⇒業界研究をしよう

◎ 業種 = 事業の種類



◎ 業界 = 同じ業種に関係する人々の社会



◎ 職種 = 職業・職務の種類



どんな業種・業界・職種に興味があるのか、考えよう

業界研究・企業研究とは？④



業界研究・企業研究とは？⑤

例3) 仕事の選び方：長く続けられるか・福利厚生… ⇒企業研究をしよう

★例えば、「電気機械器具製造業」で技術職に就きたいAさんの場合

①ナビサイトで業種「総合電機」を検索すると、**120社**ヒット！

- ・A電機株式会社
- ・B研究所
- ・C電線株式会社
- ・Dホールディングス…

同業種でも

- ・家電
- ・電気照明器具
- ・通信機械
- ・電子計算機

などのメーカーがあり、作っている製品は様々。

また、製品を**企業**向けに販売する「**BtoB**」，

製品を**最終消費者**向けに販売する「**BtoC**」といった**業態**がある。

大学では病院との共同研究を経験したから、電気機械器具製造業の中でも**医療機器**を扱うメーカーで技術職として働きたいな。できれば**地元**から近く、**残業が少ない**ところが良いな。



業界研究・企業研究とは？⑥

★例えば、「電気機械器具製造業」で技術職に就きたいAさんの場合

②希望の条件（地域・職種など）で絞り込んでいく。

「総合電機」⇒「中・四国地域」⇒「技術職」⇒「ノー残業デー」で絞り込むと、**10社**がヒット！

- ・A電機株式会社
- ・B研究所
- ・C電線株式会社
- ・Dホールディングス…

③各社の業務内容や福利厚生を細かく見ていき、比較検討する。

社名	業務内容	給与	勤務地
A電機株式会社	○	○	×
B研究所	△	○	×
C電線株式会社	○	△	○
Dホールディングス	○	×	△
株式会社R	○	○	○

医療機器を作っているぞ！

地元の香川県に生産拠点があるぞ！

自分の条件に合うのは

「株式会社R」だな。

会社説明会に参加してみよう！



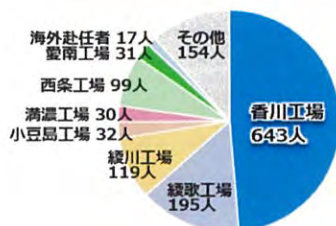
「できない」に挑戦し「できない」壁を乗り越える

“開発好奇心集団”



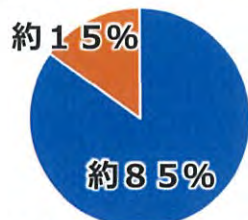
株式会社レクザムとは

拠点別人数



売上の内訳

エレクトロニクス応用製品以外



エレクトロニクス応用製品

- ◆社 名 : 株式会社 レクザム
- ◆設 立 : 1960年(昭和35年)1月
- ◆資本金 : 4,880万円
(レクザムグループ総資本金 110億円)
- ◆従業員数 : 1,320名
- ◆所在地 : [本 社]大阪府大阪市中央区南本町2-1-8
[香川工場]香川県高松市香南町池内958
- ◆業 種 : 電気機械器具製造業
- ◆事業内容 : エレクトロニクス応用製品(電子コントローラ、医療機器他)
半導体製造装置関連機器、自動車部品、精密機械加工品、
スキーブーツ、地ビール、乾燥剤などの開発・設計・製造・販売
- ◆売 上 : 742億円(2022年12月期)
- ◆主要取引先 : ダイキン工業株式会社
パナソニック株式会社
日立ジョンソンコントロールズ空調株式会社
三菱重工業株式会社
三菱自動車工業株式会社
日立グローバルライフソリューションズ株式会社
タイガー魔法瓶株式会社

事業部門と部署(一部)

事業部ごとに扱う製品が異なります。各部署で様々な技術者が活躍中!

〈事業部門〉

〈営業品目〉

〈部署〉

生産本部

エレクトロニクス応用製品



設計部: OEM製品の設計

機電情

開発部: 自社開発製品の設計

機電情
光化生

生産技術部: 生産準備、
生産技術開発

機電情

システム開発部: 社内システムの構築

情

EソリューションBU

半導体製造装置
関連機器



技術開発部: 半導体製造装置
関連機器の設計

機電情

メタルワーキングBU

自動車部品



技術課: 金型設計・製作

機

ナノスタンプメタルBU

精密機械加工品



機

事業内容と主な製品群① 生産本部

EMSから技術支援まで、様々なお客様のニーズに対応しています

OEM製品



マイコンボード

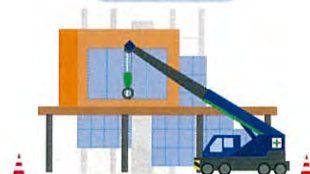
空調機器



家電製品



車載用機器



医療機器



車両関係機器



この他にも
FA機器や通信機器、
農機具など様々な
エレクトロニクス製品
の設計・開発を
しています。

事業内容と主な製品群② 生産本部

自社開発製品

アイケア機器

検眼器



レフラクター



スペキュラー マイクロ스코プ



基板実装アシスト装置

Sherlock



Watson



Pegasus



バイオ計測機器

エバネッセント 蛍光スキャナ



流路式SPR装置



超臨界洗浄・乾燥装置



事業内容と主な製品群③

EソリューションBU

熱源・温湿度調整機
(チラー)



搬送用ロボット



自動車固定用クラスパー



さぬき地ビール



サンドライ
(工業用乾燥剤)



メタルワーキングBU

自動車部品



ナノスタンプメタルBU

超精密加工製品



スポーツ事業部

スキーブーツ



レクザムの強み

1

経営の安定性・将来性



レクザムの強み

グローバルメーカーとの取引による、多様な製品群
幅広い事業展開により、安定した経営が可能に！

売上推移

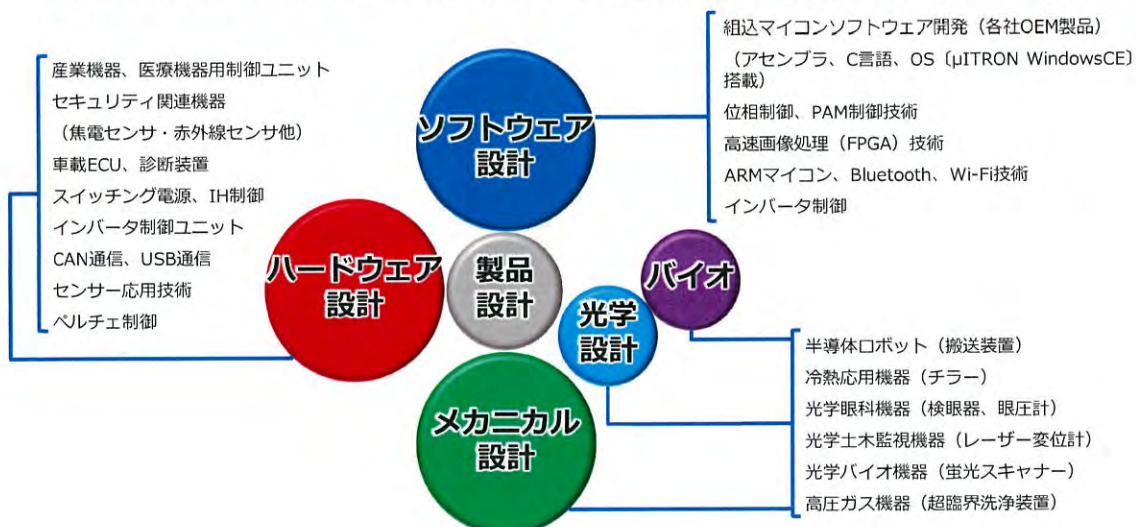


レクザムの強み

2

エンジニアとして成長できる環境

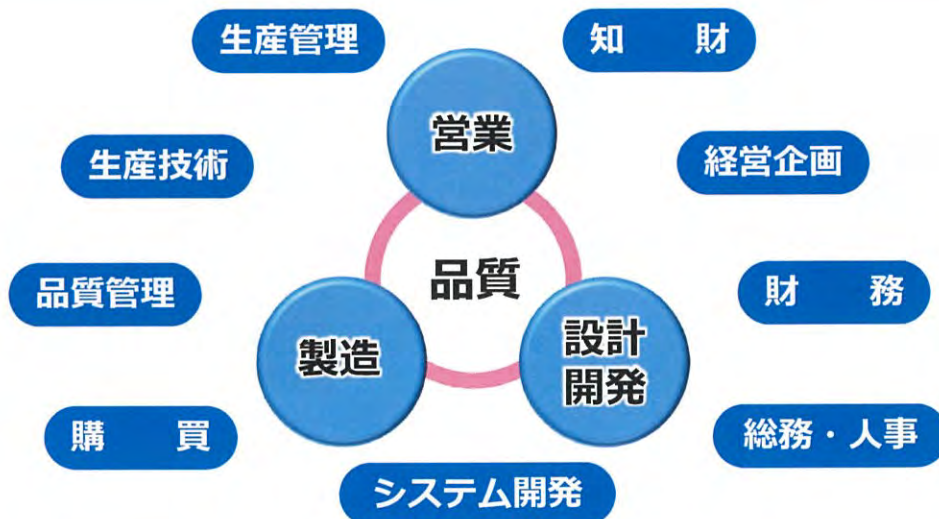
多分野のエンジニアと関わり、多角的に知見を集めての“ものづくり”



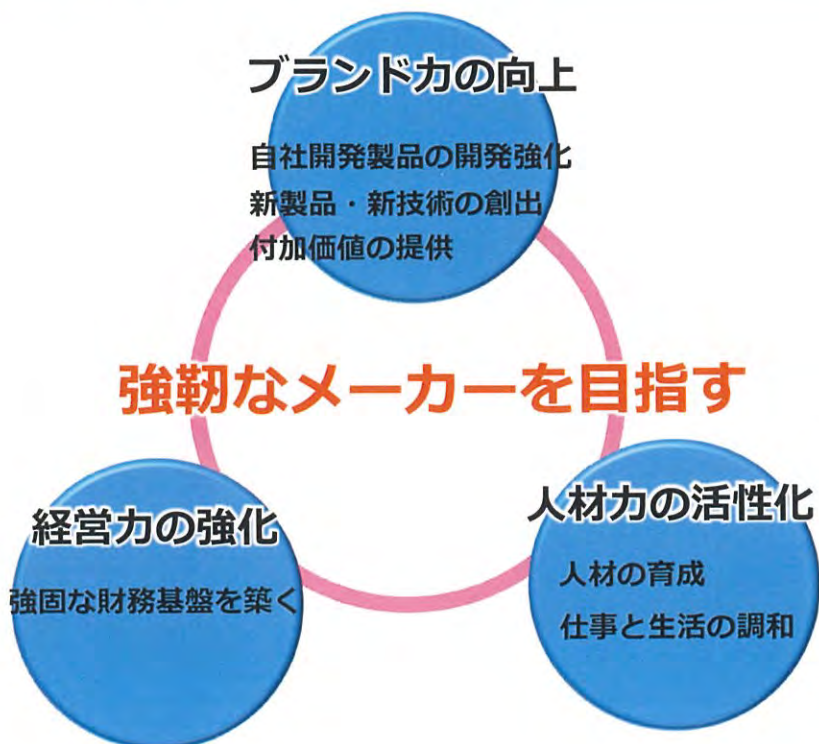
レクザムの強み

3

設計・開発から製造までの一貫した生産体制

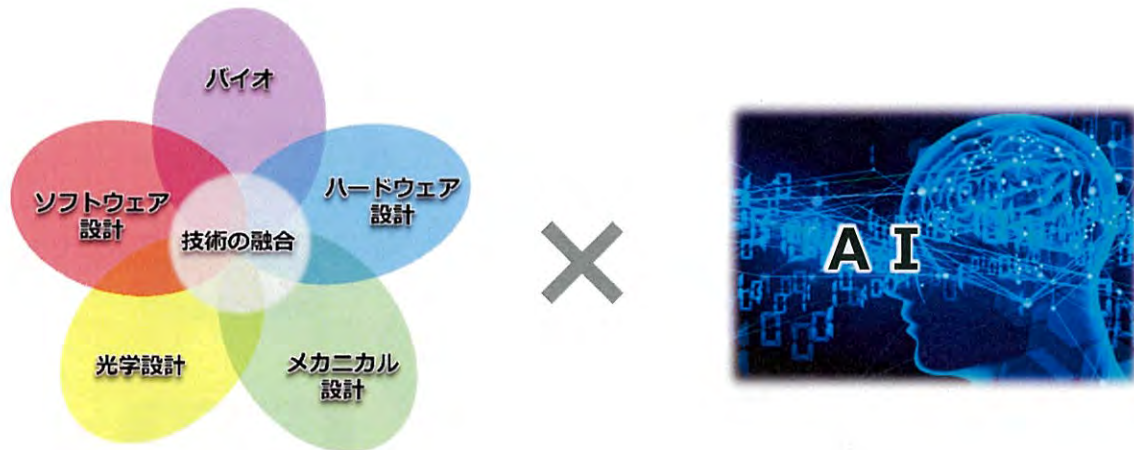


今後の挑戦① 事業方針

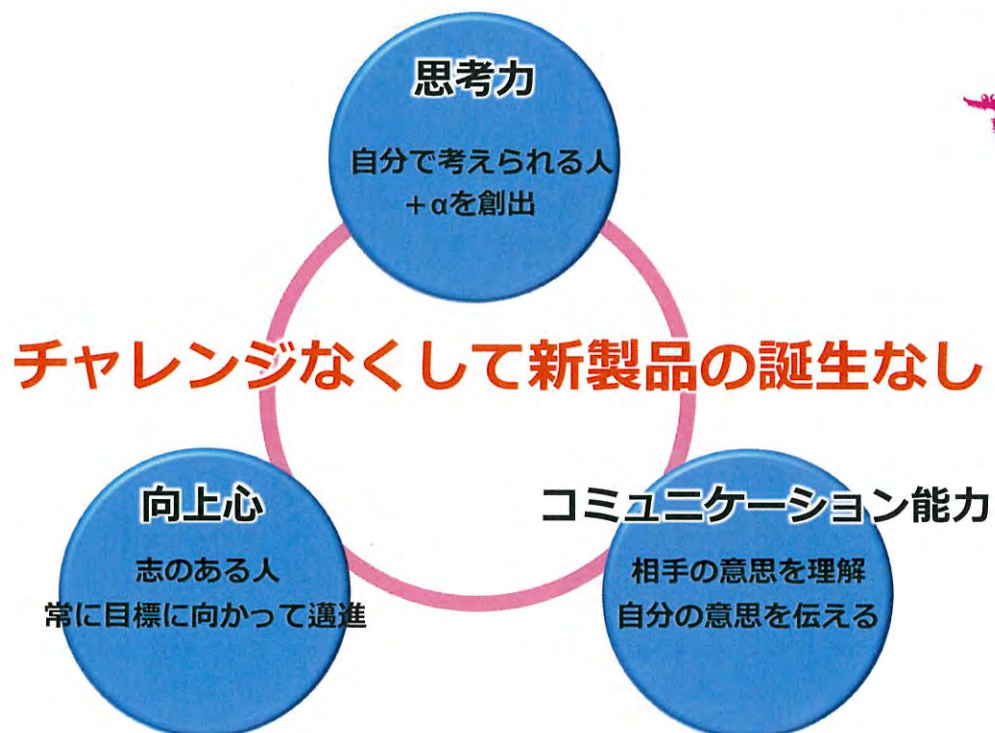


今後の挑戦② 『今後の事業展開・新たな製品開発』

コア技術 & A I の融合で、更なる可能性へ!



求める人物像



福利厚生

■休日・休暇

- ◆完全週休2日制（土・日）
- ◆年未年始休暇・ゴールデンウィーク休暇・夏季休暇
- ◆年次有給休暇
- ◆慶弔休暇

年未年始・GW・
夏季休暇は最大で
各9日間！

年間休日は
121日（一斉有給
休暇を含む）

有給休暇の
平均取得日数は
13.4日！
※2022年度実績



■設備・施設

- ◆寮（個室・冷暖房完備）
- ◆社宅
- ◆社員食堂
- ◆トレーニングルーム
- ◆提携保養施設
- ◆提携フィットネスクラブ
- ◆提携保育園完備



（男性社員寮）



（社員食堂）



（トレーニングルーム）

リフレッシュ
できる環境！

県外出身者も
安心して勤務
できる環境！



■保険・諸手当・制度

- ◆社会保険（健康保険、厚生年金、労災保険、雇用保険）
- ◆諸手当（住宅手当、家族手当、営業手当、通勤手当）
- ◆育児休暇制度
- ◆介護休暇制度
- ◆財形貯蓄制度
- ◆退職年金制度
- ◆資格取得バックアップ制度

育児取得者も
復帰しやすい
環境！

育児の取得率は
100%の実績！
※女性社員の場合

通信教育で資格を
取得した場合の
費用助成あり！



■クラブ活動

- ◆硬式テニス部
- ◆サイクリング部
- ◆フットサル部
- ◆茶道・華道部

※会社非公式の活動として、

- バスケットボール部
- バレーボール部
- バドミントン部



地域への貢献

県内施設のネーミングライツを獲得し、地域にも貢献しています！

レクザムスタジアム

（香川県営野球場）



レクザムホール

（香川県県民ホール）



屋島レクザムフィールド

（屋島陸上競技場）



レクザムボールパーク丸亀

（丸亀市民球場）



カマタマーレ讃岐 トップスポンサーに就任！



採用試験までの活動

①業界研究

②企業研究

⇒企業研究の一環として、就業体験
(インターンシップ・1day仕事体験)に参加

夏季(7～9月)



冬季(12～1月)



採用試験(3月～)



就業体験に参加すると…

- ・実際の業務が分かる
- ・社内の雰囲気分かる
- ・社員の人柄が分かる
- ・動機形成、志望度向上
- ・ミスマッチの防止

どこで働く？

業種・職種・業務内容・福利厚生…
大切なことはたくさんありますが、
生活に大きく影響を与えるのが



都会

or



地方

場所

都会に出てみたい気もするけど、
地方の方が暮らしやすそうだな。



どこで働く？ ⇒ 香川で働く！

レクザム社員に聞いた会社の魅力

(就活中)



1位 事業の幅広さ

2位 社員や職場の雰囲気

3位 技術力

4位 地域貢献

5位 地元企業

6位 知名度・安定性

(入社後)



1位 知識を活かせる

2位 知識を高められる

3位 社員や職場の雰囲気

4位 新たな分野への挑戦ができる

5位 やりたいことに挑戦できる

6位 事業の幅広さ

何のために働き、どの業種のどの企業で
やりたいことを実現していくのか



「自分の言葉」で説明ができるように
なるところから、就活を始めてみましょう

できないに挑戦し できない壁を乗り越える 「開発好奇心集団」

レクザムの
【Webサイト】と
【採用情報】もぜひ
ご覧ください。



Rexxam
【Webサイト】



Rexxam
【採用情報】

